



# CHAPTER 17

## Audio and Video IP Phone レポートの生成

音声（またはユーザ インターフェイスで IP と呼んでいるもの）およびビデオ電話は、スイッチと物理的な関係を持ち、Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) と論理的な関係を持ちます。この電話に関するレポートは、この両方の関係を組み合わせたビューを提供し、これによって音声 IP 電話とビデオ電話の問題を追跡と解決が容易になります。

Prime UOM はスケジュールされた電話インベントリ データを収集し（「[IP フォン検出の使用](#)」(P.8-64) を参照）、5 分ごとに追加データを収集して、電話ステータスが変更されたかどうかを判断します。IP Phones レポートには詳細な電話インベントリおよびステータス情報が記載されています。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- 「[Audio IP Phones レポートの使用](#)」(P.17-1)
- 「[IP Phone Movement Tracking について](#)」(P.17-35)
- 「[電話のポーリングについて](#)」(P.17-36)
- 「[Video IP Phones レポートの使用](#)」(P.17-37)
- 「[その他のレポートの表示](#)」(P.17-64)

## Audio IP Phones レポートの使用

この項の構成は、次のとおりです。

- 「[IP Phone Inventory レポートの生成](#)」(P.17-3)
- 「[Audio IP Phone Inventory レポートについて](#)」(P.17-15)
- 「[Audio IP Phone Activity レポートの使用](#)」(P.17-26)



(注)

Audio IP Phone レポートには、ビデオ電話のデータは含まれません。これらの詳細については、「[Video IP Phones レポートの使用](#)」(P.17-37) を参照してください。

Audio IP Phones レポートでは、次のようにインベントリとアクティビティ レポートが提供されます。

### Audio IP Inventory レポート

ネットワーク内の IP フォンの現在のステータスを示す詳細な音声 IP フォンデータが示されます。これらのレポートで、次のことが行えます。

- **Search** : 少数の IP フォンまたは 1 つの IP フォンの情報を表示する場合は、**Search** を使用します。Search では、内線番号の全体または一部、IP アドレス、または MAC アドレスを使用して電話を検索することができます。「[IP フォンの検索](#)」(P.17-3) を参照してください。

- **Inventory Analysis** : 指定した基準を満たす IP フォンを表示する場合は、Inventory Analysis レポートを使用します。たとえば、特定の Cisco CallManager に登録された IP フォンや、特定のスイッチに接続されていない IP フォンなどを表示できます。「[Inventory Analysis レポートの生成](#)」(P.17-6) および「[Audio IP Phone Inventory レポートについて](#)」(P.17-15) を参照してください。
- **Audio Phones/Lines** : ネットワークの音声電話のリストを表示し、管理するために Audio Phones/Lines レポートを使用します。「[Audio Phones/Lines レポートの生成](#)」(P.17-10) を参照してください。
- **SRST IP Phones** : Survivable Remote Site Telephony (SRST) 専用に設定された IP フォンのデータを表示する場合は、SRST IP Phones レポートを使用します。「[SRST IP Phones レポートの生成](#)」(P.17-10) および「[Audio IP Phone Inventory レポートについて](#)」(P.17-15) を参照してください。  
SRST 用に設定された IP フォンは、All IP Phones/Lines レポートにも含まれ、Inventory Analysis レポートに含まれる場合もあります。
- **SIP Phones** : Prime UOM で監視しているすべての SIP 電話のデータを表示する場合は、SIP Phones レポートを使用します。「[SIP Phones レポートの生成](#)」(P.17-11) および「[Audio IP Phone Inventory レポートについて](#)」(P.17-15) を参照してください。
- **IP Communicators** : IP Communicator のデータを表示する場合は、IP Communicators レポートを使用します。「[IP Communicators レポートの生成](#)」(P.17-11) および「[Audio IP Phone Inventory レポートについて](#)」(P.17-15) を参照してください。  
IP Communicator は、All IP Phones/Lines レポートにも含まれ、Inventory Analysis レポートに含まれる場合もあります。
- **All CTI Applications** : CTI アプリケーションのデータを表示する場合は、All CTI Applications レポートを使用します。「[All CTI Applications レポートの生成](#)」(P.17-11) を参照してください。
- **All ATA Devices** : ATA デバイスのデータを表示するには All ATA Devices レポートを使用します。「[All ATA Devices レポートの生成](#)」(P.17-12) を参照してください。
- **Cisco 1040 センサー** : Cisco 1040 センサーのデータを表示するには、Cisco 1040 Sensors レポートを使用します。「[Cisco 1040 Sensors レポートの生成](#)」(P.17-13) を参照してください。  
IP フォンの Web インターフェイスがアクセス可能になっている場合は、次のいずれかのハイパーリンクをクリックすることにより、ほとんどの IP Phone レポートから Web インターフェイスを開くことができます。
  - Extension number
  - MAC address
  - IP address
 詳細については、「[IP フォンの Web インターフェイスの表示](#)」(P.17-24) を参照してください。

## Audio IP Activity レポート

過去 1 ~ 30 日間にステータス変更のあった音声 IP フォンのデータが示されます。

- **IP Phone Move** : IP Phone Move レポートでは、スイッチ間を移動した電話や、同じスイッチ上で別のスイッチポートに移動した電話や、別の Cisco Unified Communications Manager に登録された電話のデータを見ることができます。「[Audio IP Phone Move レポートの使用方法](#)」(P.17-27) を参照してください。
- **IP Phone Audit** : ネットワークで発生した監査変更（登録、未登録、追加、削除）の要約を取得するために IP Phone Audit レポートを使用します。「[Audio IP Phone Audit レポートの使用方法](#)」(P.17-29) を参照してください。
- **Removed IP Phones** : Removed IP Phones レポートでは、ネットワークから削除された電話の要約を取得できます。「[Removed IP Phones レポートの使用方法](#)」(P.17-31) を参照してください。

- **Extension Number Change** : Extension Number Change レポートは、内線番号が変更された電話の要約を取得するために使用します。「[Extension Number Changes レポートの使用方法](#)」(P.17-32) を参照してください。
- **Duplicate MAC/IP Address** : Duplicate MAC/IP Address レポートは、重複した MAC/IP アドレスを持つ電話の要約を取得するために使用します。「[Duplicate MAC/IP Address レポートの使用方法](#)」(P.17-34) を参照してください。
- **Suspect Phone** : Suspect Phone レポートを使用して、Cisco Unified Communications Manager に登録されていないか、または登録を試みたものの、失敗した電話機のデータを表示します。「[Suspect Phone レポートの使用方法](#)」(P.17-33) を参照してください。
- **Export** : 前述のすべての電話ステータスの変更レポートをエクスポートするには、エクスポート機能を使用します。「[IP Phone Status レポートのエクスポート](#)」(P.17-35) を参照してください。

詳細については、次のトピックを参照してください。

- 「[Audio IP Phone Activity レポートの対象期間](#)」(P.17-27)
- 「[Cisco Unified Communications Manager がダウンしている場合の電話ステータスの追跡](#)」(P.17-27)

## IP Phone Inventory レポートの生成

次の事項について説明します。

- 「[IP フォンの検索](#)」(P.17-3)
- 「[Inventory Analysis レポートの生成](#)」(P.17-6)
- 「[Audio Phones/Lines レポートの生成](#)」(P.17-10)
- 「[SRST IP Phones レポートの生成](#)」(P.17-10)
- 「[SIP Phones レポートの生成](#)」(P.17-11)
- 「[IP Communicators レポートの生成](#)」(P.17-11)
- 「[All CTI Applications レポートの生成](#)」(P.17-11)
- 「[All ATA Devices レポートの生成](#)」(P.17-12)
- 「[Cisco 1040 Sensors レポートの生成](#)」(P.17-13)
- 「[Associated Phone and Phone Detail レポートについて](#)」(P.17-13)

## IP フォンの検索

ネットワーク内の 1 つまたは少数の IP フォンを検索するには、**Search** を使用します。**Search** では、1 台の電話機の情報を一度に表示します。複数の電話機がある場合に各電話の情報を表示するために前後に移動できます。内線番号、IP アドレス、MAC アドレス、およびカスタマー名の全部または一部を使用して電話を検索できます。

Cisco Unified Communications Manager に登録されているすべての電話やスイッチに接続されているすべての電話などのように、多数の電話を検索する場合は、**Inventory Analysis** レポートを使用します。「[Inventory Analysis レポートの生成](#)」(P.17-6) を参照してください。

Prime UOM ウィンドウでの電話数の表示方法については、「[電話数は、Fault Monitor、Diagnostics ビュー、およびレポートにどのように表示されますか](#)」(P.1-32) を参照してください。

IP フォンを検索するには、次の手順に従います。

**ステップ 1** [Reports] > [Audio IP Phones] > [Inventory] > [Search] を選択します。

[Find IP Phones] ページが表示されます。

**ステップ 2** [Find IP Phones Where] ペインで、次の操作を実行します。

a. 次のいずれかを選択します。

- Extension number
- IP address
- MAC address

b. 次のいずれかを選択します。

- is exactly
- begins with
- contains
- ends with

c. 値を入力します。

**ステップ 3** [View] をクリックします。

[IP Phone Details] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスには、表 17-1 で説明されている情報が表示されます。

**表 17-1 IP Phone Details**

| 列                        | 説明   |
|--------------------------|--|
| Extension <sup>1</sup>   | IP フォンの内線番号。たとえば 4000。ハイパーリンクをクリックすると、IP フォンの Web インターフェイスが開きます（「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照）。   |
| IP Address <sup>1</sup>  | IP フォンの IP アドレス。たとえば 10.76.38.65。ハイパーリンクをクリックすると、IP フォンの詳細情報が表示されます（「Audio IP Phones レポートの使用」(P.17-1) を参照）。  |
| MAC Address <sup>1</sup> | IP フォンの MAC アドレス。たとえば 003094c40454 や 00-30-94-c4-04-54。ハイパーリンクをクリックすると、IP フォンの Web インターフェイスが開きます（「Audio IP Phones レポートの使用」(P.17-1) を参照）。 <sup>2</sup><br><br>すべての電話レポートで、ソフトフォン（IP Communicator、Personal Communicator など）には、MacAddress フィールドの下にデバイス名が表示されます。これは、ソフトフォンの追跡が MacAddress（変動する情報）ではなくデバイス名（一意の情報）によって行われるためです。 |
| CM Address               | IP フォンが登録されている Cisco Unified Communications Manager (CCM) のアドレス。たとえば 10.76.38.70。  |
| Switch Address           | IP フォンが接続されているスイッチの IP アドレス。たとえば 10.76.29.162。   |
| Customer Name            | マルチ カスタマー ビューのユーザの場合は、カスタマー グループ名。   |
| Switch Name              | IP フォンが接続されているスイッチ。  |
| Switch Port              | IP フォンが接続されているスイッチ ポート。たとえば Fa0/12。  |
| Port Status              | IP フォンが接続されているスイッチ ポートのステータス。up または down。  |
| Device Pool Name         | IP フォンが属しているデバイス プール。  |

表 17-1 IP Phone Details (続き)

| 列                           | 説明  |
|-----------------------------|---|
| Partition Name              | IP フォンが属するパーティション。  |
| Status Reason Code          | IP フォンの登録ステータスの理由コード。各ステータスの理由コードの詳細については、Cisco Unified Communications Manager のマニュアルを参照してください。Energywise の Power Save Plus モードになっている電話は、電話の登録ステータス変更の理由コードに基づいて識別されます。   |
| IP Phone Status             | Cisco Unified Communications Manager での IP フォンの登録ステータス : <ul style="list-style-type: none"> <li>• Yes: IP フォンは Cisco Unified Communications Manager に登録済みです。</li> <li>• No: IP フォンは Cisco Unified Communications Manager に登録されていません。</li> </ul> |
| IP Phone Type               | Cisco IP Phone のモデル番号。たとえば、7902、7905、7910、7912、7920、7935、7940、7960、7970。  |
| Protocol                    | 電話が Cisco Unified Communications Manager との通信に使用するプロトコル。<br>検出されるのは、SCCP 電話と SIP 電話だけです。H.323 および MGCP プロトコルは現在サポートされていません。   |
| VLAN Name                   | スイッチ内の VLAN の名前 (ユーザ定義名)。たとえば voice。  |
| VLAN ID                     | IP フォンが接続されているスイッチ内の VLAN の ID。たとえば 100。  |
| SRST Router                 | SRST 用に電話で使用しているルータの IP アドレス。   |
| SRST Mode                   | 次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Yes: 電話は SRST モードです。</li> <li>• No: 電話は SRST モードではありません。</li> <li>• ?: 電話は SRST モードであると思われます。</li> <li>• — (ダッシュ): 電話は SRST 電話ではありません。</li> </ul>  |
| Serial No. <sup>2</sup>     | IP Phone のシリアル番号。<br>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36) を参照してください。   |
| Application ID <sup>2</sup> | 電話機で実行しているファームウェアの識別番号。<br>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36) を参照してください。   |
| Load ID <sup>2</sup>        | 電話機で実行しているプレインストールされたロードの識別番号。<br>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36) を参照してください。<br>マルチエンドカスタマー バージョン導入では、この情報は Cisco Unified CM から取得され、選択モデルにしか取得できません。  |
| Primary CUCM                | 電話のプライマリ Unified CM の IP アドレス。  |
| Switch Private Address      | (任意) 選択されている必要があります。このフィールドに表示される値は、このスイッチが NATTED である場合に取得可能です。取得可能でない場合は、このフィールドの表示は N/A になります。Prime UOM で管理対象スイッチのプライベートアドレス。  |

1. NAT 環境では、Prime UOM がこれらの電話の IP フォン情報を取得することはできない場合があります。その場合、これらの情報はこのフィールドに表示されず、このフィールドから呼び出すこともできません。これは、NAT 環境の電話が NAT ゲートウェイの背後にあり、Prime UOM が電話詳細情報に直接アクセスできないためです。
  2. このデータは、NAT 環境内の Unified CM IP フォンについては収集されません。
- 新しいブラウザ ウィンドウに印刷に適した形式で情報を表示するには、[Print] をクリックします。情報の印刷には、ブラウザの印刷機能を使用します。
  - 検索結果に複数の電話が含まれる場合は、[Next] または [Prev] をクリックしてそれぞれを表示します。
- 

## Inventory Analysis レポートの生成

ネットワーク内の IP フォンを検索してレポートに表示するには、Inventory Analysis を使用します。

### はじめる前に

Inventory Analysis では、次のように電話が検索されます。

- 各フィールド内では暗黙的に「or」を使用：1 つのフィールドに複数の値を入力した場合は、入力したいずれかの値に一致する電話が検索されます。
- すべてのフィールド間で暗黙的な「and」を使用：複数のフィールドに値を入力した場合は、各フィールドで少なくとも 1 つの値に一致する電話が検索されます。

たとえば、[IP Phone Model] フィールドに 2 つの電話モデル (7910 と 7935 など) を入力した場合、結果の Inventory Analysis レポートにはこれらのモデルのすべての電話が含まれます。

これに加えて 1 つの VLAN ID と 1 つのスイッチを入力すると、Inventory Analysis が次の基準をすべて満たす電話を探します。レポートには、スイッチに接続され、選択した VLAN 内に存在する、指定されたモデルの電話のみ含まれます。

Inventory Analysis レポートを生成するには、次の手順に従います。

- 
- ステップ 1** [Reports] > [Audio IP Phones] > [Inventory] > [Inventory Analysis] を選択します。  
[Find IP Phones] ページが表示されます。
  - ステップ 2** 表 17-2 での説明に従って、1 つ以上のフィールドに値を入力します。

表 17-2 Inventory Analysis

| GUI 要素                                    | 説明/処理   |
|---|---|
| [Find IP Phones Where] のリスト ボックスとフィールド    | <p>左から右の順に次の作業を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– Extension number</li> <li>– IP Address</li> <li>– MAC Address</li> </ul> </li> <li>• 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– is exactly</li> <li>– begins with</li> <li>– contains</li> <li>– ends with</li> </ul> </li> <li>• 値を入力します。</li> </ul> |
| Customer Name                             | マルチ エンドカスタマー バージョン導入の場合だけ。デバイスをデータベースに追加したときに入力したカスタマー名。  |
| Device Pool                               | デバイス プールの名前を入力します。  |
| Partition Name                            | パーティションの名前を入力します。   |
| [VLAN Name] フィールド                         | VLAN の名前を入力します。   |
| [VLAN ID] フィールド                           | VLAN ID を入力します。   |
| [IP Phone Status] のオプション ボタン <sup>1</sup> | <p>次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Registered</li> <li>• Unregistered</li> <li>• All : 登録された電話と登録解除された電話。</li> </ul>   |
| [SRST Status] オプション ボタン                   | <p>次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SRST : WAN リンク障害時に SRST ルータへフェールオーバーするように設定されている。</li> <li>• Non-SRST : SRST 向けに設定されていない。</li> <li>• All : SRST および非 SRST。</li> </ul>   |
| [Protocol] のオプション ボタン                     | <p>次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SCCP : Skinny Client Control Protocol を使用する電話機。</li> <li>• SIP : Session Initiation Protocol を使用する電話機。</li> <li>• All : SCCP および SIP。</li> </ul>  |

表 17-2 Inventory Analysis (続き)

| GUI 要素                  | 説明 / 処理   |
|-------------------------|---|
| [IP Phone Type] フィールド   | <p>複数の電話モデルをカンマで区切って入力します。フィールドのエントリを直接編集するか、次のように電話タイプのリストから選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="626 384 1490 468">1.  をクリックします。<br/>[Select IP Phone Types] リストが表示されます。</li> <li data-bbox="626 478 1490 583">2. 必要な IP フォンタイプをリストから選択します<br/>リストから複数の IP フォンのタイプを選択するには Ctrl キーまたは Shift キーを使用します。</li> <li data-bbox="626 594 1490 632">3. [OK] をクリックします。</li> </ol>   |
| [CM/CM Cluster/CME] ペイン | <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="626 642 1490 800">• [Exclude] チェックボックス：デフォルトでオフになります。オンにすると、リストボックスの Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager クラスタ、および Cisco Unified Communications Manager Express に属している電話が除外されます。</li> <li data-bbox="626 810 1490 936">• リストボックス：複数の Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager クラスタ、および Cisco Unified Communications Manager Express インスタンスをカンマで区切って入力するか、次のように選択します。 <ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="626 947 1490 1062">1.  をクリックします。<br/>[Select CCM/CCM Cluster/CME] ダイアログボックスが表示されます。</li> <li data-bbox="626 1073 1490 1272">2. CCM/CCM Cluster/CME Selector で、グループを展開し、次のいずれかを 1 つ以上選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="686 1146 1490 1178">– Cisco Unified Communications Manager</li> <li data-bbox="686 1188 1490 1220">– Cisco Unified Communications Manager Cluster</li> <li data-bbox="686 1230 1490 1262">– Cisco Unified Communications Manager Express</li> </ul> </li> <li data-bbox="626 1283 1490 1398">3. [OK] をクリックします。<br/>ダイアログボックスが閉じ、[Find IP Phones] 画面に [CCM/CCM Cluster/CME] リストボックスで選択した項目が表示されます。</li> </ol> </li> </ul> |
| [Switch] ペイン            | <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="626 1409 1490 1503">• [Exclude] チェックボックス：デフォルトでオフになります。オンにすると、リストボックスのスイッチに接続されている電話が除外されます。</li> <li data-bbox="626 1514 1490 1577">• リストボックス：複数のスイッチをカンマで区切って入力するか、次のように選択します。 <ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="626 1587 1490 1703">1.  をクリックします。<br/>[Inventory Analysis Switch Selection] ダイアログボックスが表示されます。</li> <li data-bbox="626 1713 1490 1745">2. [Switch Selector] でグループを展開し、スイッチを選択します。</li> <li data-bbox="626 1755 1490 1864">3. [OK] をクリックします。<br/>ダイアログボックスが閉じ、[Find IP Phones] 画面に [Switch] リストボックスで選択した項目が表示されます。</li> </ol> </li> </ul>   |

表 17-2 Inventory Analysis (続き)

| GUI 要素             | 説明 / 処理   |
|--------------------|---|
| [SRST Router] ペイン  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Exclude] チェックボックス：デフォルトでオフになります。オンにすると、リスト ボックスの SRST ルータを使用する電話が除外されます。</li> <li>• リスト ボックス：複数のルータをカンマで区切って入力するか、次の手順で選択します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1.  をクリックします。<br/>[Inventory Analysis Router Selection] ダイアログボックスが表示されます。</li> <li>2. [Router Selector] でグループを展開し、ルータを選択します。</li> <li>3. [OK] をクリックします。<br/>ダイアログボックスが閉じ、[Find IP Phones] 画面に [Router] リスト ボックスで選択した項目が表示されます。</li> </ol> </li> </ul> |
| Status Reason Code | <p>このフィールドに基づいて、電話の検索とフィルタリングを行えます。デフォルトでは、このフィールドは空白です。</p> <p>複数のステータス理由コードをカンマで区切って入力します。デフォルトでは、このフィールドには、サポートされるすべての理由コードが含まれています。フィールドのエントリを直接編集するか、次のようにステータス理由コードのリストから選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.  をクリックします。<br/>[Select Status Reason Codes] リストが表示されます。</li> <li>2. リストから、必要な理由コードを選択します。<br/>リストから複数の理由コードを選択するには Ctrl キーまたは Shift キーを使用します。</li> <li>3. [OK] をクリックします。</li> </ol>  |

1. 登録済み電話の数には、部分的に登録された電話も含まれています。

**ステップ 3** [View] をクリックします。

別のウィンドウに Inventory Analysis レポートが表示されます。次を参照してください。表 17-1

 をクリックしたときに表示されるポップアップ ウィンドウに、Cisco Unified Communications Manager やスイッチのリストが表示されない場合があります。このような状況は、PIFServer プロセスがダウンしている場合に発生します。次の操作を行います。

- コマンドラインで **pdshow PIFServer** コマンドを使用して、PIFServer のステータスを確認します。
- PIFServer が停止している場合、Common Services の起動機能を使用します。次の手順を実行します。

**ステップ 1** [Administration] > [Server Administration (Common Services)] > [Administration] > [Process Management] を選択します。

[Process Management] ページが表示され、表にプロセス名が示されます。

**ステップ 2** 表で PIFServer プロセスを特定し、そのチェックボックスをオンにして [Start] をクリックします。

また、コマンドラインからコマンド **pdexec PIFServer** を使用して、PIFServer を起動することもできます。この方法は、Web サーバが停止している場合などに使用してください。

## Inventory Analysis レポートについて

Inventory Analysis レポートの詳細については、「[Video Phones/Lines レポートの生成](#)」(P.17-46) および「[Inventory Analysis レポートの生成](#)」(P.17-6) を参照してください。

## Audio Phones/Lines レポートの生成

Audio Phones/Lines レポートを生成するには、次の手順を実行します。



(注)

このレポートには、ビデオ電話は含まれません。これらの詳細については、「[Video Phones/Lines レポートの生成](#)」(P.17-46) を参照してください。

**ステップ 1** [Reports] > [Audio IP Phones] > [Inventory] > [Audio Phones/Lines] を選択します。

[Audio Phones/Lines] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** リストから [IP Phones] を選択して、[View] をクリックします。

[Audio Phones/Lines] レポートが表示されます。Unknown Phones Report へのリンクが、レポートのタイトルの横に表示されます。

## Audio Phones/Lines レポートについて

デフォルトでは、All IP Phones/Lines レポートには、Extension、User、IP Address、MAC Address、Model、Regd、CCM、Switch Address、および Port のカラムだけが表示されます。マルチ エンドカスタマーバージョン導入を実行している場合は、デバイスをデータベースに追加したときかまたはデータベース内のデバイスを編集したときにカスタマー名を入力していれば、Customer Name も表示されます。

これらのカラムは非表示にできます。また、他のカラムを表示されるように選択することもできます。「[Phone Inventory レポートに表示するカラムと表示しないカラムの選択](#)」(P.17-23) を参照してください。

表 17-7 では、Audio Phones/Lines レポートに表示できるすべてのデータ カラムについて説明します。

## SRST IP Phones レポートの生成

SRST IP Phones レポートには、Survivable Remote Site Telephony (SRST) 用に設定された電話のリストが表示されます。

SRST IP Phones レポートを生成するには、[Reports] > [Audio IP Phones] > [Inventory] > [SRST IP Phones] を選択します。新しいウィンドウに SRST IP Phones レポートが表示されます。レポートには、SRST 設定の情報だけが表示されます。詳細については、「[Audio IP Phone Inventory レポートについて](#)」(P.17-15) を参照してください。

## SIP Phones レポートの生成

SIP Phones レポートには、SIP 電話のリストが表示されます。

IP Phones SIP Phones レポートを生成するには、[Reports] > [Audio IP Phones] > [Inventory] > [SIP Phones] を選択します。Video Phones SIP Phones レポートを生成するには、[Reports] > [Video IP Phones] > [Inventory] > [SIP Phones] を選択します。

新しいウィンドウに SIP Phones レポートが表示されます。レポートには、SIP 電話の情報だけが表示されます。詳細については、「[Audio IP Phone Inventory レポートについて](#)」(P.17-15) を参照してください。

## IP Communicators レポートの生成

IP Communicator は、All IP Phones/Lines レポートおよび All CTI Applications レポートにも含まれ、また、Inventory Analysis レポートに含まれる場合もあります。

IP communications レポートを生成するには、[Reports] > [Audio IP Phones] > [Inventory] > [IP Communicators] を選択します。

新しいウィンドウに IP Communicators レポートが表示されます。レポートには、IP Communicator の情報だけが表示されます。詳細については、「[Audio IP Phone Inventory レポートについて](#)」(P.17-15) を参照してください。

## All CTI Applications レポートの生成

All CTI Applications レポートには、Prime UOM が監視する Cisco Unified Communications Manager に登録された Computer Telephony Interface (CTI) デバイス アプリケーションが表示されます。Cisco Unified Communications Manager には、次のアプリケーションが CTI デバイスまたは CTI ポートとして登録されます。

- Cisco Personal Assistant
- Cisco Customer Response Applications
- Cisco IP Contact Center
- Cisco Emergency Responder

All CTI Applications レポートを生成するには、[Reports] > [Audio IP Phones] > [Inventory] > [CTI Applications] を選択します。

All CTI Applications レポートが表示され、表 17-3 で説明されている情報が表示されます。

表 17-3 All CTI Applications レポートの生成

| カラム                     | 説明   |
|-------------------------|--|
| Device Name             | デバイスの名前。   |
| IP Address              | <ul style="list-style-type: none"> <li>CTI アプリケーションの IP アドレス (アプリケーションが CTI ポートの場合)</li> <li>Cisco Unified Communications Manager の IP アドレス (アプリケーションが CTI ルート ポイントの場合)</li> </ul> |
| Extension               | CTI アプリケーション (CTI ポート/CTI ルート ポイント) の内線番号。   |
| Application Information | Cisco Unified Communications Manager で報告される、CTI アプリケーションの定義名。アプリケーションが CTI に登録されていない場合、このフィールドには Not supported と表示されます。  |
| Reg Status              | CTI アプリケーションが Cisco Unified Communications Manager に登録されているかどうか。Yes、No、または Unknown。  |
| CM Address              | Cisco Unified Communications Manager のアドレス。  |
| Cluster Name            | クラスタの名前。   |
| Device Type             | デバイスのタイプ。  |
| Last Reg Time           | 時間   |
| Customer Name           | マルチ エンドカスタマー バージョン導入の場合だけ。デバイスをデータベースに追加したときに入力したカスタマー名。このフィールドは、Customer View にリンクしています。これは、このカスタマーの Summary View です。   |

## All ATA Devices レポートの生成

All ATA Devices レポートには、Prime UOM が監視する Cisco Unified Communications Manager に登録されたすべての Advanced Technology Attachment (ATA) デバイスが表示されます。

All ATA Devices レポートを生成するには、[Reports] > [Audio IP Phones] > [Inventory] > [ATA Devices] を選択します。

新しいウィンドウに All ATA Devices レポートが表示されます。レポートには、すべての ATA デバイスの情報だけが表示されます。詳細については、「[IP Phone Inventory レポートの生成](#)」(P.17-3) を参照してください。

表 17-4 All ATA Devices レポート

| カラムとボタン       | 説明/処理                                    |
|---------------|--|
| Device Name   | ATA デバイスの名前                              |
| Customer Name | このカスタマー グループに関連付けられた名前。                  |
| Device Type   | ATA デバイス タイプ                             |
| CCM Name      | Cisco Unified Communications Manager の名前 |

## Cisco 1040 Sensors レポートの生成

Cisco 1040 Sensors レポートには、Prime UOM が監視しているスイッチに接続されたすべての Cisco 1040 Sensor のリストが表示されます。

Cisco1040 Sensors レポートを生成するには、[Reports] > [Audio IP Phones] > [Inventory] > [Cisco 1040 Sensors] を選択します。

Cisco 1040 Sensors レポートは新しいウィンドウで表示され、Cisco 1040 Sensor の情報だけが表示されます。詳細については、「[IP Phone Inventory レポートの生成](#) (P.17-3) を参照してください。

表 17-5 Cisco 1040 Sensors レポート

| カラムとボタン        | 説明/処理                              |
|----------------|------------------------------------|
| Device ID      | 1040 Sensor のデバイス ID。              |
| IP Address     | 1040 Sensor の IP アドレス。             |
| Switch Name    | 1040 Sensor が接続されているスイッチの名前。       |
| Customer Name  | このカスタマー グループに関連付けられた名前。            |
| Switch Address | 1040 Sensor が接続されているスイッチの IP アドレス。 |
| Switch Port    | 1040 Sensor が接続されているスイッチ。          |

## Associated Phone and Phone Detail レポートについて

[Service Level View]、[Event Details] ページ、または [Detailed Device View] からこれらのレポートを起動できます。選択したデバイスに応じて、レポートに次のいずれかのリストが表示されます。

- スwitchに接続された電話機。
- Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express に登録された電話機。
- クラスタの一部である電話機。

このレポートには表 17-6 で一覧表示されるデータが含まれます。[Device Management Summary] ウィンドウにおける電話機カウントの表示方法については、「[電話数は、Fault Monitor、Diagnostics ビュー、およびレポートにどのように表示されますか](#)」(P.1-32) を参照してください。

このレポートには表 17-6 で一覧表示されるデータが含まれます。

表 17-6 Associated Phones and Phone Details レポート

| カラムとボタン  | 説明/処理   |
|----------|---|
| 番号       | 行番号。1 から始まります。  |
| チェックボックス | 次の操作の対象となる電話を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Print : 選択した電話を新しいウィンドウの印刷に適した形式での表示に含めます (「<a href="#">電話レポートのツール ボタン</a>」(P.17-19) を参照)。</li> <li>• Export to a file : 選択した電話を PDF ファイルまたは CSV ファイルに含めます (「<a href="#">電話レポートのツール ボタン</a>」(P.17-19) を参照)。</li> <li>• Launch a test on : レポートの一番下に [Launch] ボタンが表示されている場合に、選択した電話をこのボタンから作成したテストに含めます (「<a href="#">選択した IP フォンへのテスト実施</a>」(P.17-25) を参照)。</li> </ul> |

表 17-6 Associated Phones and Phone Details レポート (続き)

| カラムとボタン         | 説明 / 処理   |
|-----------------|---|
| Extn.           | IP フォンの内線番号。たとえば 4000。ハイパーリンクをクリックすると、IP フォンの詳細情報が表示されます（「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照）。   |
| User            | Prime UOM に LDAP サーバが設定されている場合に LDAP を使用して取得されたユーザ名。「LDAP の設定」(P.8-68) および「IP Phone レポート用の LDAP のユーザ名の取得」(P.17-24) を参照してください。   |
| IP Address      | IP フォンの IP アドレス。たとえば、10.76.38.65 と指定します。ハイパーリンクをクリックすると、IP フォンの詳細情報が表示されます（「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照）。   |
| Customer Name   | このカスタマー グループに関連付けられた名前。   |
| MAC Address     | IP フォンの MAC アドレス。たとえば、003094c40454 や 00-30-94-c4-04-54。ハイパーリンクをクリックすると、IP フォンの詳細情報が表示されます（「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照）。<br><br>すべての電話レポートで、ソフトフォン (IP Communicator、Personal Communicator など) には、MacAddress フィールドの下にデバイス名が表示されます。これは、ソフトフォンの追跡が MacAddress (変動する情報) ではなくデバイス名 (一意の情報) によって行われるためです。 |
| Model           | IP フォンのモデル番号。たとえば、7902、7905、7910、7912、7920、7935、7940、7960、7970。   |
| Protocol        | 電話が Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express との通信に使用するプロトコル。   |
| Regd.           | Cisco Unified CM または Cisco Unified CME に対する IP フォンの登録ステータス。<br><ul style="list-style-type: none"><li>• Yes : IP フォンが登録されている場合</li><li>• No : IP フォンが登録されていない場合</li><li>• Partial : 電話が部分的に登録されている場合</li></ul>   |
| CCM             | 次のいずれかです。<br><ul style="list-style-type: none"><li>• CCM : Cisco Unified Communications Manager</li><li>• CCE : Cisco Unified Communications Manager Express</li></ul>  |
| CCM/CME Address | IP フォンが登録されている Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express の IP アドレス。   |
| Switch Address  | IP フォンが接続されているスイッチの IP アドレス。  |
| Port            | IP フォンが使用するスイッチ ポート。たとえば Fa0/12。  |
| VLAN Name       | VLAN の名前 (ユーザ定義名)。たとえば voice。   |
| VLAN ID         | IP フォンの VLAN の ID。たとえば 100。   |
| SRST Mode       | 次のいずれかです。<br><ul style="list-style-type: none"><li>• Yes : 電話は SRST モードです。</li><li>• No : 電話は SRST モードではありません。</li><li>• ? : 電話は SRST モードであると思われます。</li><li>• — (ダッシュ) : 電話は SRST 電話ではありません。</li></ul>  |

表 17-6 Associated Phones and Phone Details レポート (続き)

| カラムとボタン        | 説明/処理   |
|----------------|---|
| SRST Router    | 次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>電話が SRST 用に使用しているルータの IP アドレス。</li> <li>— (ダッシュ)</li> </ul>  |
| Serial No.     | IP Phone のシリアル番号。<br>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36) を参照してください。   |
| Application ID | 電話機で実行しているファームウェアの識別番号。<br>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36) を参照してください。   |
| Load ID        | 電話機で実行しているプレインストールされたロードの識別番号。<br>マルチエンドカスタマーバージョン導入では、この情報は Cisco Unified CM から取得され、選択モデルにしか取得できません。<br>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36) を参照してください。 |
| [Launch] ボタン   | メニュー項目をクリックして選択し、このレポートで選択された IP フォンのテストを設定します。   |

## Audio IP Phone Inventory レポートについて

表 17-7 に、次のレポートに表示されるデータを示します。

- Inventory Analysis : 指定した基準に一致する電話が含まれます。
- Audio Phones/Lines : IP Communicators および SRST 用に設定されている IP フォンも含めて、すべての IP フォンが含まれます。  
All IP Phones/Lines レポートをフィルタリングして、表示したい電話だけをレポートに含めることができます。
- SRST IP Phones : SRST 用に設定された電話だけが含まれます。
- SIP Phones : Session Initiation Protocol (SIP) を使用する電話機だけが含まれます。
- IP Communicators : IP Communicator だけが含まれます。
- ATA Devices : ATA デバイスだけが含まれます。
- Cisco 1040 Sensors : Cisco 1040 センサーだけが含まれます。
- Associated Phones and Phone Details : 選択されたデバイスに関連付けられた電話機だけが含まれます。たとえば、スイッチに接続された電話機や、Cisco Unified Communications Manager (または Cisco Unified Communications Manager Express) に登録された電話機。

デフォルトでは、これらのレポートに表示されるカラムは、Extension、Phone Description、IP Address、MAC Address、Model、Regd、CCM/CME Address、Switch Address、Port、Device Pool、Partition Name、Status Reason Code だけです。マルチエンドカスタマーバージョン導入を実行している場合は、デバイスをデータベースに追加したときかまたはデータベース内のデバイスを編集したときにカスタマー名を入力していれば、Customer Name も表示されます。

これらのカラムは非表示にできます。また、他のカラムを表示されるように選択することもできます。レポートに表示できるすべてのカラムのリストについては、各レポートのトピックを個別に参照してください。

表 17-7 では、これらのレポートに表示できるすべてのデータ カラムについて説明します。Prime UOM ウィンドウでの電話数の表示方法については、「電話数は、Fault Monitor、Diagnostics ビュー、およびレポートにどのように表示されますか」(P.1-32) を参照してください。

表 17-7 IP Phone レポート

| カラムとボタン                 | 説明 / 処理  |
|-------------------------|--|
| 番号                      | 行番号。1 から始まります。   |
| チェックボックス                | 次の操作の対象となる電話を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Print</b> : 選択した電話を新しいウィンドウの印刷に適した形式での表示に含めます (「電話レポートのツール ボタン」(P.17-19) を参照)。</li> <li>• <b>Export to a file</b> : 選択した電話を PDF ファイルまたは CSV ファイルに含めます (「電話レポートのツール ボタン」(P.17-19) を参照)。</li> <li>• <b>Launch a test on</b> : レポートの一番下に [Launch] ボタンが表示されている場合に、選択した電話をこのボタンから作成したテストに含めます (「選択した IP フォンへのテスト実施」(P.17-25) を参照)。</li> </ul> |
| Extn. <sup>1</sup>      | IP フォンの内線番号。たとえば 4000 と入力します。ハイパーリンクをクリックすると、IP フォンの詳細情報が表示されます (「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照)。  |
| User                    | Prime UOM に LDAP サーバが設定されている場合に LDAP を使用して取得されたユーザ名。「LDAP の設定」(P.8-68) および「IP Phone レポート用の LDAP のユーザ名の取得」(P.17-24) を参照してください。  |
| Phone Description       | デバイスから取得した SNMP MIB 変数。  |
| IP Address <sup>1</sup> | IP フォンの IP アドレス。たとえば、10.76.38.65 と指定します。ハイパーリンクをクリックすると、IP フォンの詳細情報が表示されます (「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照)。   |
| Customer Name           | このカスタマー グループに関連付けられた名前。  |

表 17-7 IP Phone レポート (続き)

| カラムとボタン                  | 説明 / 処理  |
|--------------------------|--|
| MAC Address <sup>1</sup> | <p>IP フォンの MAC アドレス。たとえば、003094c40454 や 00-30-94-c4-04-54。ハイパーリンクをクリックすると、IP フォンの詳細情報が表示されます（「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照）。</p> <p>すべての電話レポートで、ソフトフォン（IP Communicator、Personal Communicator など）には、MacAddress フィールドの下にデバイス名が表示されます。これは、ソフトフォンの追跡が MacAddress（変動する情報）ではなくデバイス名（一意の情報）によって行われるためです。</p> |
| Model                    | IP Phone のモデル番号。たとえば、7902、7905、7910、7912、7920、7935、7940、7960、7970。   |
| Protocol                 | <p>電話が Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express との通信に使用するプロトコル。</p> <p>検出されるのは、SCCP 電話と SIP 電話だけです。H.323 および MGCP プロトコルは現在サポートされていません。</p>  |
| Regd.                    | <p>Cisco Unified CM または Cisco Unified CME に対する IP フォンの登録ステータス。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Yes : IP フォンが登録されている場合</li> <li>• No : IP フォンが登録されていない場合</li> <li>• Partial : 電話が部分的に登録されている場合</li> </ul>  |
| CCM                      | <p>次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CCM : Cisco Unified Communications Manager</li> <li>• CCE : Cisco Unified Communications Manager Express</li> </ul>  |
| CCM/CME Name             | IP フォンが登録されている Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express の DNS 名。  |
| CCM/CME Address          | IP フォンが登録されている Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express の IP アドレス。  |
| Switch Name              | IP フォンが接続されているスイッチの名前。   |
| Switch Address           | IP フォンが接続されているスイッチの IP アドレス。   |
| Port                     | IP フォンが使用するスイッチポート。たとえば Fa0/12。  |
| Device Pool Name         | IP フォンに関連付けられているデバイスプールの名前。  |

表 17-7 IP Phone レポート (続き)

| カラムとボタン                     | 説明 / 処理  |
|-----------------------------|--|
| Partition Name              | IP フォンに関連付けられているパーティションの名前。  |
| Status Reason Code          | IP フォンの登録ステータスの理由コード。各ステータスの理由コードの詳細については、Cisco Unified Communications Manager のマニュアルを参照してください。Energywise の Power Save Plus モードになっている電話は、電話の登録ステータス変更の理由コードに基づいて識別されません。                                 |
| Port Status                 | IP フォンが使用するポートのステータス。up または down。  |
| VLAN Name                   | VLAN の名前 (ユーザ定義名)。たとえば voice。  |
| VLAN ID                     | IP フォンの VLAN の ID。たとえば 100。  |
| SRST Mode                   | 次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Yes : 電話は SRST モードです。</li> <li>• No : 電話は SRST モードではありません。</li> <li>• ? : 電話は SRST モードであると思われます。</li> <li>• — (ダッシュ) : 電話は SRST 電話ではありません。</li> </ul> |
| SRST Router                 | 次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話が SRST 用に使用しているルータの IP アドレス。</li> <li>• — (ダッシュ)</li> </ul>   |
| Serial No. <sup>2</sup>     | IP Phone のシリアル番号。<br>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36)を参照してください。   |
| Application ID <sup>2</sup> | 電話機で実行しているファームウェアの識別番号。<br>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36)を参照してください。   |
| Load ID <sup>2</sup>        | 電話機で実行しているプレインストールされたロードの識別番号。<br>マルチエンドカスタマー バージョン導入では、この情報は Cisco Unified CM から取得され、選択モデルにしか取得できません。<br>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36)を参照してください。                                    |

表 17-7 IP Phone レポート (続き)

| カラムとボタン            | 説明 / 処理   |
|--------------------|---|
| Primary CUCM       | 電話のプライマリ Unified CM の IP アドレス。Prime UOM 内で管理されていない場合 (NATTED 環境の場合)、Primary CUCM には、プライベート IP アドレスが表示されます。  |
| Status Reason Code | IP フォンの登録ステータスの理由コード。各ステータスの理由コードの詳細については、Cisco Unified CM のマニュアルを参照してください。Energywise の Power Save Plus モードになっている電話は、電話の登録ステータス変更の理由コードに基づいて識別されます。 |
| Customer Name      | 管理されているサービス プロバイダー カスタマーの場合は、カスタマー グループ名。このデータは、デバイスがデータベースに追加される時に入力され、デバイス データを編集することによっても追加できます。   |
| [Launch] ボタン       | メニュー項目をクリックして選択し、このレポートで選択された IP フォンのテストを設定します。 <a href="#">「選択した IP フォンへのテスト実施」 (P.17-25)</a> を参照してください。   |

1. Prime UOM では、NATTED 環境内の電話の電話詳細情報は取得できません。NAT 環境の電話は、NAT ゲートウェイの背後にあります。このため、Prime UOM が電話に直接アクセスすることができず、したがってこれらのフィールドにデータが表示されません。
2. このデータは、NAT 環境内の Unified CM IP フォンについては収集されません。

## 電話レポートのツール ボタン

IP Phones レポートまたは Video Applications レポートの右上隅には、表 17-8 で説明するレポート ツール ボタンが表示される場合があります。

表 17-8 電話レポートのツール ボタン

|   |   |
|---|---|
|  | レポートをさらに絞りこむためのフィルタ ダイアログボックスを開きます。「 <a href="#">IP Phones レポートのフィルタリング</a> 」 (P.17-20) を参照してください。  |
|  | 現在のレポートを PDF ファイルまたは CSV ファイルにエクスポートし、ローカル システムに保存します。<br>すべての電話、選択した電話、またはレコード番号の範囲のデータをエクスポートできます。  |
|  | 使用しているブラウザからの印刷に適した形式のレポートを新しいウィンドウに表示します。  |
|  | レポートの非表示にするカラムや表示するカラムを選択できる <a href="#">[column selector]</a> ダイアログボックスを開きます。「 <a href="#">Phone Inventory レポートに表示するカラムと表示しないカラムの選択</a> 」 (P.17-23) を参照してください。 |

表 17-8 電話レポートのツール ボタン (続き)

|   |               |
|---|---------------|
|  | 状況依存ヘルプを開きます。 |
|---|---------------|

## IP Phones レポートのフィルタリング

IP Phones レポートから、[Filter] ボタン  が表示されているときに、このボタンをクリックします。フィルタ ダイアログボックスが表示されます。

フィルタリングは次のように実行されます。

- 各フィールド内では暗黙的に「or」を使用：1 つのフィールドに複数の値を入力した場合、レポートには、入力したいずれかの値に一致する電話が含まれます。
- すべてのフィールド間で暗黙的な「and」を使用：複数のフィールドに値を入力した場合、フィルタリングの後のレポートには、各フィールドで少なくとも 1 つの値に一致する電話が含まれます。

たとえば、[IP Phone Model] フィールドに 2 つの電話モデル (7910 と 7935 など) を入力した場合、結果のレポートにはこれらのモデルのすべての電話が含まれます。これに加えて 1 つの VLAN ID と 1 つのスイッチを入力すると、フィルタリングにより、該当のスイッチに接続され、選択した VLAN 内に存在する、指定されたモデルの電話だけがレポートに含まれます。

Audio Phones and Applications レポートにフィルタリングするには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** 次の表で説明されている 1 つ以上のフィールドに値を入力します。

| GUI 要素                                | 説明/処理  |
|---------------------------------------|--|
| [Find IP Phones Where] のリストボックスとフィールド | 左から右の順に次の作業を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>次のいずれかを選択します。               <ul style="list-style-type: none"> <li>Extension number</li> <li>IP Address</li> <li>MAC Address</li> </ul> </li> <li>次のいずれかを選択します。               <ul style="list-style-type: none"> <li>is exactly</li> <li>begins with</li> <li>contains</li> <li>ends with</li> </ul> </li> <li>値を入力します。</li> </ul> |
| [VLAN Name] フィールド                     | VLAN の名前を入力します。  |
| [VLAN ID] フィールド                       | VLAN ID を入力します。  |
| [IP Phone Status] のオプション ボタン          | 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Registered<sup>1</sup></li> <li>Unregistered</li> <li>All：登録された電話と登録解除された電話</li> </ul>  |

| GUI 要素                | 説明 / 処理  |
|-----------------------|--|
| [SRST] のオプション ボタン     | <p>次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SRST : WAN リンク障害時に SRST ルータへフェールオーバーするように設定されている。</li> <li>• Non-SRST : SRST 向けに設定されていない。</li> <li>• All : SRST および非 SRST。</li> </ul>  |
| [IP Phone Type] フィールド | <p>複数の電話モデルをカンマで区切って入力します。デフォルトで、このフィールドには IP Communicator など、サポートされるすべての電話モデルが含まれます。フィールドのエントリを直接編集するか、次のように電話モデルのリストから選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.  をクリックします。<br/>[Select IP Phone Types] リストが表示されます。</li> <li>2. 必要な IP フォンタイプをリストから選択します<br/>リストから複数の IP フォンタイプを選択するには Ctrl キーまたは Shift キーを使用します。</li> <li>3. [OK] をクリックします。</li> </ol>   |
| [CCM/CME] ペイン         | <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Exclude] チェックボックス : デフォルトでオフになります。オンにすると、リストボックスの Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager クラスタ、および Cisco Unified Communications Manager Express に属している電話が除外されます。</li> <li>• リストボックス : 複数の Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager クラスタ、および Cisco Unified Communications Manager Express インスタンスをカンマで区切って入力するか、次のように選択します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1.  をクリックします。<br/>[Select CCM/CCM Cluster/CME] ダイアログボックスが表示されます。</li> <li>2. CCM/CCM Cluster/CME Selector で、グループを展開し、次のいずれかを 1 つ以上のインスタンスを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– Cisco Unified Communications Manager</li> <li>– Cisco Unified Communications Manager Cluster</li> <li>– Cisco Unified Communications Manager Express</li> </ul> </li> <li>3. [OK] をクリックします。<br/>ダイアログボックスが閉じ、[Find IP Phones] 画面に [CCM/CCM Cluster/CME] リストボックスで選択した項目が表示されます。</li> </ol> </li> </ul> |

| GUI 要素             | 説明 / 処理  |
|--------------------|--|
| [Switch] ペイン       | <ul style="list-style-type: none"> <li>[Exclude] チェックボックス：デフォルトでオフになります。オンにすると、リストボックスのスイッチに接続されている電話が除外されます。</li> <li>リストボックス：複数のスイッチをカンマで区切って入力するか、次のように選択します。 <ol style="list-style-type: none"> <li> をクリックします。<br/>[Inventory Analysis Switch Selection] ダイアログボックスが表示されます。</li> <li>[Switch Selector] でグループを展開し、スイッチを選択します。</li> <li>[OK] をクリックします。<br/>ダイアログボックスが閉じ、[Find IP Phones] 画面に [Switch] リストボックスで選択した項目が表示されます。</li> </ol> </li> </ul>  |
| [SRST Router] ペイン  | <ul style="list-style-type: none"> <li>[Exclude] チェックボックス：デフォルトでオフになります。オンにすると、リストボックスの SRST ルータを使用する電話が除外されます。</li> <li>リストボックス：複数のスイッチをカンマで区切って入力するか、次のように選択します。 <ol style="list-style-type: none"> <li> をクリックします。<br/>[Inventory Analysis Router Selection] ダイアログボックスが表示されます。</li> <li>[Router Selector] でグループを展開し、ルータを選択します。</li> <li>[OK] をクリックします。<br/>ダイアログボックスが閉じ、[Find IP Phones] 画面に [Router] リストボックスで選択した項目が表示されます。</li> </ol> </li> </ul>   |
| Device Pool Name   | IP フォンに関連付けられているデバイス プールの名前。   |
| Partition Name     | IP フォンに関連付けられているパーティションの名前。  |
| Status Reason Code | <p>IP フォンの登録ステータスの理由コード。各ステータスの理由コードの詳細については、Cisco Unified CM のマニュアルを参照してください。</p> <p>このフィールドに基づいて、電話の検索とフィルタリングを行えます。デフォルトでは、このフィールドは空白です。</p> <p>複数のステータス理由コードをカンマで区切って入力します。デフォルトでは、このフィールドには、サポートされるすべての理由コードが含まれています。フィールドのエントリを直接編集するか、次のようにステータス理由コードのリストから選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li> をクリックします。<br/>[Select Status Reason Codes] リストが表示されます。</li> <li>リストから、必要な理由コードを選択します。<br/>リストから複数の理由コードを選択するには Ctrl キーまたは Shift キーを使用します。</li> <li>[OK] をクリックします。</li> </ol> |
| Customer Name      | 管理されているサービス プロバイダー カスタマーの場合は、カスタマー グループ名。このデータは、デバイスがデータベースに追加されるときに入力され、デバイス データを編集することによっても追加できます。   |

1. 登録済み電話の数には、部分的に登録された電話も含まれています。

**ステップ 2** [OK] をクリックします。

フィルタ ダイアログボックスが閉じ、IP Phone レポートがリフレッシュされます。詳細については、「[Audio IP Phone Inventory レポートについて](#)」(P.17-15) を参照してください。



をクリックしたときに表示されるポップアップ ウィンドウに、Cisco Unified Communications Manager やスイッチのリストが表示されない場合があります。このような状況は、PIFServer プロセスがダウンしている場合に発生します。次の操作を行います。

- コマンドラインで **pdshow PIFServer** コマンドを使用して、PIFServer のステータスを確認します。
- PIFServer が停止している場合、Common Services の起動機能を使用します。次の手順を実行します。

**ステップ 1** [Administration] > [Server Administration (Common Services)] > [Administration] > [Process Management] を選択します。

[Process Management] ページが表示され、表にプロセス名が表示されます。

**ステップ 2** 表で PIFserver プロセスを特定し、そのチェックボックスをオンにして [Start] をクリックします。

また、コマンドラインからコマンド **pdexec PIFServer** を使用して、PIFServer を起動することもできます。この方法は、Web サーバが停止している場合などに使用してください。

## Phone Inventory レポートに表示するカラムと表示しないカラムの選択

デフォルトでは、電話機のレポートに次のデータのカラムが表示されます。

- Extension
- Phone Description
- IP Address
- MAC Address
- Model
- Regd
- CM/CME Address
- Switch Address
- Port
- Device Pool
- Partition Name
- Status Reason Code
- Customer Name

定義については、「[Audio IP Phone Inventory レポートについて](#)」(P.17-15) を参照してください。

デフォルト カラムのいずれかを非表示にするには、次の手順に従って、表示するその他のデータ カラムを選択します。

**ステップ 1** 電話レポートの右上隅で、[Column Filter] ボタンをクリックします。

[column selector] ダイアログボックスが表示されます。

- カラムを非表示にするには、そのカラムを [Hidden Columns] リストに置きます。

**a.** [Displayed Columns] リストからカラムの名前を選択します。

**b.** [< Remove <<] ボタンをクリックします。

カラム名が [Hidden Columns] リストに表示されます。

隣接するカラムを選択するには、Shift キーを押したまま選択します。隣接しないカラムを選択するには、Ctrl キーを押したまま選択します。

- カラムを表示するには、そのカラムを [Displayed Columns] リストに置きます。

**a.** [Hidden Columns] リストからカラムの名前を選択します。

**b.** [< Add <<] ボタンをクリックします。

カラム名が [Displayed Columns] リストに表示されます。

**ステップ 2** [Update] をクリックします。

レポート ウィンドウを更新すると、[Displayed Columns] リストのカラムだけが表示されます。



(注)

選択内容は他のユーザには影響せず、Prime UOM からログアウトするまで、または選択内容を変更するまで、このレポートに対して有効です。

## IP フォンの Web インターフェイスの表示

次のハイパーリンクが利用可能であれば、強調表示されたリンクのいずれかをクリックして、IP Phones レポートまたは Video Phones レポートから、IP フォンの web インターフェイスを開くことができます。

- Extension number
- IP address
- MAC address

別のウィンドウが開き、指定された IP フォンのネットワーク設定の詳細、デバイス、ポート、イーサネット情報などの情報が電話から直接表示されます。

## IP Phone レポート用の LDAP のユーザ名の取得

Prime UOM は、企業の LDAP サーバが次の条件に当てはまる場合に、Audio Phone and Video Phone レポートにその LDAP サーバから取得したユーザ名を使用することができます。

- すべてのユーザの情報が設定されている。
- セキュアな LDAP サーバではない (SSL 認証を使用していない)。
- 正しいレデンシヤルと適切な電話番号で Prime UOM に追加されている。この電話番号には、LDAP の設定に応じて、電話番号か MAC アドレスを使用できます。

Prime UOM では、IP フォンの検出が実行されるときにユーザ名がアップデートされます。IP フォンの検出では、企業ディレクトリ内で `telephoneNumber` 属性を持つユーザが取得され、そのようなユーザのデータと Cisco Unified Communications Manager の情報が関連付けられます。

詳細については、次のトピックを参照してください。

## 選択した IP フォンへのテスト実施

IP Phones レポートまたは Video Phones レポートの右下隅に [Launch] ボタンが表示されている場合は、レポートから電話を選択し、次の使用可能なオプションのいずれかを使用して、電話にテストを設定できます。

- SRST Test : 1 つ以上の電話を選択します。「[必要に応じた 1 つの SRST テストの設定](#)」(P.10-9) を参照してください。
- Phone Test : 1 つ以上の電話を選択します。「[オンデマンド電話テストの作成と実行](#)」(P.13-15) を参照してください。
- Synthetic Test : 1 つの電話だけを選択します。「[模擬テストの作成](#)」(P.12-7) を参照してください。
- Phone Status Tests : 1 つ以上の電話を選択します。「[電話ステータス テストの追加 : \[Create Phone Status Test\] ページの使用](#)」(P.11-4) を参照してください。

## Audio IP Phones レポートおよび Video IP Phones レポートのトラブルシューティングのヒント

次のヒントについて説明します。

- 「N/A または Not Available が Audio IP Phones レポートや Video IP Phone レポートに表示される」(P.17-25)
- 「Cisco Wireless IP Phone 7920 が Audio IP Phones レポートに表示されない」(P.17-26)
- 「Audio IP Phones レポートで電話が見つからない」(P.17-26)

**N/A または Not Available が Audio IP Phones レポートや Video IP Phone レポートに表示される** フィールドに、データではなく N/A や Not Available が表示される場合は、次のいずれかを意味しています。

- スイッチまたは Cisco Unified Communications Manager は Prime UOM によって監視されません。この状態を修正するには、該当のスイッチまたは Cisco Unified Communications Manager を Prime UOM に追加します。
- Prime UOM はそのスイッチまたは Cisco Unified Communications Manager から情報を取得できません。この状態を修正するには、[Events] 画面で該当のスイッチまたは Cisco Unified Communications Manager のステータスを確認します。該当のスイッチまたは Cisco Unified Communications Manager が到達不能である場合は、接続を復元します。
- IP Phones レポートの場合、電話が Cisco Wireless IP Phone 7920 であれば、Cisco Unified Communications Manager からの論理情報しか表示されません。スイッチ情報は入手できません。

### Cisco Wireless IP Phone 7920 が Audio IP Phones レポートに表示されない

Prime UOM で Cisco Wireless IP Phone 7920 を監視するには、この IP フォンの Aironet アクセス ポイントも Prime UOM で監視する必要があります。この電話については、論理情報だけが Cisco Unified Communications Manager から表示されます。7920 のスイッチ情報は N/A または Not Available と表示されます。

### Audio IP Phones レポートで電話が見つからない

レポートに特定の音声 IP フォンの情報が含まれていない場合、その電話は次のいずれかである可能性があります。

- 模擬電話：模擬テスト用に設定された IP フォン（*模擬電話*）は、IP Phones レポートに表示されません。
- IP Communicator：IP Communicator レポートを生成します。「[IP Communicators レポートの生成](#)」(P.17-11) を参照してください。
- CTI アプリケーション：これらの電話は All CTI Applications レポートに表示されます。「[All CTI Applications レポートの生成](#)」(P.17-11) を参照してください。
- ATA デバイス：ATA Devices レポートを生成します。「[All ATA Devices レポートの生成](#)」(P.17-12) を参照してください。
- Cisco 1040 Sensors：Cisco 1040 センサーを生成します。「[Cisco 1040 Sensors レポートの生成](#)」(P.17-13) を参照してください。

## Audio IP Phone Activity レポートの使用方法

Audio IP Phone Activity レポートでは、過去 1 ～ 30 日間にステータス変更のあった音声 IP フォンの情報が示されます。

Audio IP Phone Audit レポートには、このようなすべての変更の要約が示されます（「[Audio IP Phone Audit レポートの使用方法](#)」(P.17-29) を参照してください）。その他の Audio IP Phone レポートでは、次の表に示すように、特定の変更タイプに焦点を絞っています。

表 17-9 Audio IP Phone Activity レポート

| 電話のステータス変更   | レポートに表示される詳細情報   |
|--|--|
| Connection：別のスイッチ、スイッチポート、または Cisco Unified Communications Manager に接続されている。   | 「 <a href="#">Audio IP Phone Move レポートの使用方法</a> 」(P.17-27)   |
| Audio IP Phone Audit   | 「 <a href="#">Audio IP Phone Audit レポートの使用方法</a> 」(P.17-29)  |
| 重複した IP アドレスまたは MAC アドレス   | 「 <a href="#">Duplicate MAC/IP Address レポートの使用方法</a> 」(P.17-34)  |
| 内線番号の変更  | 「 <a href="#">Extension Number Changes レポートの使用方法</a> 」(P.17-32)  |
| Cisco Unified Communications Manager での登録： <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco Unified Communications Manager に登録済み</li> <li>• 未登録</li> <li>• 登録の試行と失敗</li> </ul> | 「 <a href="#">Audio IP Phone Move レポートの使用方法</a> 」(P.17-27)<br>「 <a href="#">Suspect Phone レポートの使用方法</a> 」(P.17-33) |
| 音声 IP フォンの削除   | 「 <a href="#">Removed IP Phones レポートの使用方法</a> 」(P.17-31)   |

表 17-9 Audio IP Phone Activity レポート (続き)

| 電話のステータス変更            | レポートに表示される詳細情報                         |
|-----------------------|--|
| 疑わしい音声 IP フォン         | 「Suspect Phone レポートの使用方法」(P.17-33)     |
| 音声 IP フォンステータスのエクスポート | 「IP Phone Status レポートのエクスポート」(P.17-35) |

## Audio IP Phone Activity レポートの対象期間

Audio IP Phone レポートまたは Video IP Phone Activity レポートを生成する場合は、次のそれぞれがどの時間帯の地域に属しているかによってレポートの結果が影響を受ける場合があります。

- クライアント システム : Prime UOM は、クライアント システムの日付と時刻に基づいて、Phone Activity レポートの期間 (レポートによって、過去 24 時間または 7 ~ 30 日間) を計算します。
- Prime UOM システム : Prime UOM は、内線番号の変更などのいくつかの監査情報を、Prime UOM システムでその変更が検出された時間に基づいて記録します。
- Cisco Unified Communications Manager : Prime UOM は、IP フォンの移動などのいくつかの監査情報を、変更が検出されたときの Cisco Unified Communications Manager での時間に基づいて記録します。

これらのシステムに 1 つでも同じ時間帯に属していないものがある場合は、Phone Activity レポートを生成および表示するときに、時間帯の差を考慮に入れる必要があります。



ヒント

Prime UOM システムでの監査日付および時刻が Audio IP Phone レポートまたは Video IP Phone Audit レポートに表示されるものと矛盾する場合は、ネットワーク内のすべての Cisco Unified Communications Manager が同期するように設定してください。

## Cisco Unified Communications Manager がダウンしている場合の電話ステータスの追跡

バックアップが設定されている Cisco Unified Communications Manager がダウンした場合、音声 IP フォンとビデオ IP フォンはバックアップ用の Cisco Unified Communications Manager にフェールオーバーします。

Prime UOM は、バックアップに登録された IP フォンの監査レコードを保存し、これらのステータス変更は IP Phone レコードおよび Phone Audit レポートに含められます。

Prime UOM は、次の場合は監査レコードを保存しません。

- Cisco Unified Communications Manager クラスタ全体がダウンしている場合
- バックアップが設定されていない Cisco Unified Communications Manager がダウンした場合

したがって、このような状態の Cisco Unified Communications Manager に登録された IP フォンのステータス変更は、Audio IP Phone Status レポートおよび Video IP Phone Activity レポートには含まれません。

## Audio IP Phone Move レポートの使用法

IP Phone Move レポートには、移動された IP フォンが表示されます。また、レポートには移動の前後の詳細情報も含まれます。IP Phone Move レポートには、IP フォンの移動が発生した日時ではなく、移動が検出された日時が表示されます。

IP Phone Move レポートの情報は、IP Phone Movement Tracking により、5 分ごとに収集されます（「[IP Phone Movement Tracking について](#)」(P.17-35) を参照してください）。IP Phone Movement Tracking は、すべてのスイッチと Cisco Unified Communications Manager をチェックし、変更のリストを確認して、IP フォンの移動に関するデータを生成します。



(注) IP Phone Move レポートの新しいデータは、およそ 5 分に 1 回取得されます。データをリフレッシュするには、レポートを閉じて再生成します。

IP Phone Move レポートを使用するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** [Reports] > [Audio IP Phones] > [Activity] > [IP Phone Move] を選択します。

[IP Phone Status Reports] ページが表示されます。

**ステップ 2** リストから期間（24 時間～ 30 日間）を選択して [View] をクリックします。

IP Phone Move レポートが表示され、次の表の情報が示されます。

| カラム              | 説明  |
|------------------|---|
| Extension        | IP フォンの内線番号。Extension カラムには、Old と New の 2 つのサブカラムがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Old : 移動前の IP フォンの内線番号。</li> <li>• New : 移動後の IP フォンの内線番号。</li> </ul>                                  |
| IP Address       | IP フォンの IP アドレス。  |
| MAC Address      | IP フォンの MAC アドレス。<br>すべての電話レポートで、ソフトフォン（IP Communicator、Personal Communicator など）には、MacAddress フィールドの下にデバイス名が表示されます。これは、ソフトフォンの追跡が MacAddress（変動する情報）ではなくデバイス名（一意の情報）によって行われるためです。                      |
| CCM Address      | Cisco Unified Communications Manager のアドレス。CCM Address カラムには次の 2 つのサブカラムがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Old : 移動前の IP フォンの CCM アドレス。</li> <li>• New : 移動後の IP フォンの CCM アドレス。</li> </ul> |
| Switch Address   | IP フォンが接続されているスイッチの IP アドレス。Switch Address カラムには次の 2 つのサブカラムがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Old : 移動前に IP フォンで使用されていたスイッチアドレス。</li> <li>• New : 移動後に IP フォンで使用されているスイッチアドレス。</li> </ul> |
| Switch Port      | IP フォンが使用するスイッチポート。Switch Port カラムには次の 2 つのサブカラムがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Old : 移動前に IP フォンで使用されていたスイッチポート。</li> <li>• New : 移動後に IP フォンで使用されているスイッチポート。</li> </ul>               |
| Time Stamp       | Prime UOM が IP フォンの移動を検出した日付と時刻が反映されます。   |
| Device Pool Name | IP フォンに関連付けられているデバイスプールの名前。   |

| カラム            | 説明  |
|----------------|---|
| Partition Name | IP フォンに関連付けられているパーティションの名前。   |
| Customer Name  | 管理されているサービス プロバイダー カスタマーの場合は、カスタマー グループ名。このデータは、デバイスがデータベースに追加される時に入力され、デバイス データを編集することによっても追加できます。 |



## ヒント

移動され、Cisco Discovery Protocol (CDP) を実行していない電話は、レポートに表示されません。たとえば、30VIP と 12SP+ は CDP を実行しないため、これらの移動のエントリは表示されません。

## Audio IP Phone Audit レポートの使用方法

IP Phone Audit レポートには、管理対象 IP フォンネットワークで発生した変更が表示されます。たとえば、このレポートには、ネットワークで追加または削除された IP フォンや、IP フォンの停止ステータスが表示されます。電話のステータス変更は、電話が Cisco Unified Communications Manager から登録解除された場合などに発生します。

過去 30 日以内の変更内容を表示できます。監査情報はデータベースに 30 日間保持され、その後消去されます。

IP Phone Audit レポートの情報は、IP Phone Movement Tracking によって収集されます（「[IP Phone Movement Tracking について](#)」(P.17-35) を参照してください)。IP Phone Movement Tracking は 5 分に 1 回実行されるため、IP Phone Audit レポートを実行すると、およそ 5 分に 1 回新しいデータを取得することができます。この間隔をユーザが設定することはできません。

IP Phone Audit レポートを使用するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** [Reports] > [Audio IP Phones] > [Activity] > [IP Phone Audit] を選択します。  
[IP Phone Status Reports] ページが表示されます。

**ステップ 2** リストから期間（24 時間～ 30 日間）を選択して [View] をクリックします。

IP Phone Audit レポートが表示されます。このレポートには、[表 17-10](#) で説明されている情報が表示されます。

表 17-10 Audio IP Phone Audit

| カラム               | 説明  |
|-------------------|---|
| Extension         | IP フォンの内線番号。  |
| IP Address        | IP フォンの IP アドレス。  |
| MAC Address       | IP フォンの MAC アドレス。<br>すべての電話レポートで、ソフトフォン（IP Communicator、Personal Communicator など）には、MacAddress フィールドの下にデバイス名が表示されます。これは、ソフトフォンの追跡が MacAddress（変動する情報）ではなくデバイス名（一意の情報）によって行われるためです。  |
| CCM/CME Address   | Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express のアドレス。  |
| Switch Address    | IP フォンが接続されているスイッチの IP アドレス。  |
| Switch Port       | IP フォンが使用するスイッチポート。   |
| Time              | Cisco Unified Communications Manager での監査の日時。<br>Cisco Unified Communications Manager と Prime UOM システムの間に時間帯の差が存在していても、監査の日付と時刻は Cisco Unified Communications Manager から直接取得され、調整は行われません。   |
| Audit Type        | 次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Add : 電話のネットワークへの追加。</li> <li>• Remove : 電話のネットワークからの削除。</li> <li>• Unregistered : Cisco Unified Communications Manager からの登録解除。</li> <li>• Registered : Cisco Unified Communications Manager への登録。</li> </ul> |
| Audit Reason Code | IP フォンのステータス変更の理由コード。各ステータスの理由コードの詳細については、Cisco Unified Call Manager のマニュアルを参照してください。Energywise の Power Save Plus モードによって引き起こされた電話のステータス変更は、IP Phone Audit レポートには含まれません。  |
| Device Pool Name  | IP フォンに関連付けられているデバイスプールの名前。   |
| Partition Name    | IP フォンに関連付けられているパーティションの名前。   |
| Customer Name     | 管理されているサービスプロバイダーカスタマーの場合は、カスタマーグループ名。このデータは、デバイスがデータベースに追加されるときに入力され、デバイスデータを編集することによっても追加できます。  |



(注)

IP Phone Audit レポートでは、Cisco Wireless IP Phone 7920 はサポートされません。

## Removed IP Phones レポートの使用方法

Removed IP Phones レポートには、過去 1 ～ 30 日間に削除された電話が表示されます。Prime UOM は、このレポートで使用される情報を 5 分に 1 回収集します（「[IP Phone Movement Tracking について](#)」(P.17-35) を参照してください）。そのため、このレポートを 5 分に 1 回実行して新しいデータを入手できます。

Removed IP Phone レポートを使用するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Reports] > [Audio IP Phones] > [Activity] > [Removed IP Phones] を選択します。  
[IP Phone Status Reports] ページが表示されます。
- ステップ 2** リストから期間（24 時間～ 30 日間）を選択して [View] をクリックします。  
新しいウィンドウに Removed IP Phones レポートが表示され、次の表の情報が示されます。

| カラム            | 説明  |
|----------------|---|
| Extension      | IP フォンの内線番号。  |
| IP Address     | IP フォンの IP アドレス。  |
| MAC Address    | IP フォンの MAC アドレス。<br>すべての電話レポートで、ソフトフォン（IP Communicator、Personal Communicator など）には、MacAddress フィールドの下にデバイス名が表示されます。これは、ソフトフォンの追跡が MacAddress（変動する情報）ではなくデバイス名（一意の情報）によって行われるためです。              |
| CM/CME Address | Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express のアドレス。  |
| Switch Address | IP フォンが以前接続されていたスイッチの IP アドレス。  |
| Switch Port    | IP フォンが以前接続されていたスイッチポート。  |
| Time           | 電話が Cisco Unified Communications Manager から削除された日時。<br>Cisco Unified Communications Manager と Prime UOM システムの間に時間帯の差が存在していても、削除の日付と時刻は Cisco Unified Communications Manager から直接取得され、調整は行われません。 |
| Indication     | Cisco CallManager での IP フォンの登録ステータス、removed を示します。  |



(注) Removed IP Phone レポートでは、Cisco Wireless IP Phone 7920 はサポートされません。

## Extension Number Changes レポートの使用法

Extension Number Changes レポートには、過去 1 ～ 30 日間に内線番号が変更された電話が表示されません。Prime UOM は、このレポートで使用される情報を 5 分に 1 回収集します（「[IP Phone Movement Tracking](#) について」(P.17-35) を参照してください）。そのため、このレポートを 5 分に 1 回実行して新しいデータを手に入れます。

Extension Number Changes レポートを使用するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** [Reports] > [Audio IP Phones] > [Activity] > [Extension Changes] を選択します。

[IP Phone Status Reports] ページが表示されます。

**ステップ 2** リストから期間（24 時間～ 30 日間）を選択して [View] をクリックします。

新しいウィンドウに Extension Number Changes レポートが表示され、次の表の情報が示されます。

| カラム              | 説明   |
|------------------|--|
| Extension        | IP フォンの内線番号。   |
| IP Address       | IP フォンの IP アドレス。   |
| MAC Address      | IP フォンの MAC アドレス。<br>すべての電話レポートで、ソフトフォン（IP Communicator、Personal Communicator など）には、MacAddress フィールドの下にデバイス名が表示されます。これは、ソフトフォンの追跡が MacAddress（変動する情報）ではなくデバイス名（一意の情報）によって行われるためです。 |
| CCM Address      | Cisco Unified Communications Manager のアドレス。  |
| Switch Address   | IP フォンが以前接続されていたスイッチの IP アドレス。   |
| Switch Port      | IP フォンが以前接続されていたスイッチポート。   |
| Time             | Prime UOM が内線番号の変更を確認した日時。   |
| Device Pool Name | IP フォンに関連付けられているデバイスプールの名前。  |
| Partition Name   | IP フォンに関連付けられているパーティションの名前。  |



(注)

Extension Number Changes レポートでは、Cisco Wireless IP Phone 7920 はサポートされません。

## Suspect Phone レポートの使用方法

Suspect Phone レポートには、ネットワーク内で次の状態にあるすべての IP フォンの属性が表示されません。

- Cisco Unified Communications Manager に登録されていない。
- Cisco Unified Communications Manager への登録を試行し、失敗した。

Suspect Phones レポートを使用するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** [Reports] > [IP Phones] > [Activity] > [Suspect Phones] を選択します。

[IP Phone Status Reports] ページが表示されます。

**ステップ 2** リストから期間 (24 時間 ~ 30 日間) を選択して [View] をクリックします。

疑わしい IP フォンがある場合は、新しいウィンドウに Suspect Phone レポートが表示され、次の表の情報が示されます。

| カラム            | 説明  |
|----------------|---|
| Extension      | 疑わしい IP フォンの内線番号。   |
| IP Address     | 疑わしい IP フォンの IP アドレス。   |
| MAC Address    | 疑わしい IP フォンの MAC アドレス。<br>すべての電話レポートで、ソフトフォン (IP Communicator、Personal Communicator など) には、MacAddress フィールドの下にデバイス名が表示されます。これは、ソフトフォンの追跡が MacAddress (変動する情報) ではなくデバイス名 (一意の情報) によって行われるためです。 |
| Switch Address | 疑わしい IP フォンが接続されているスイッチの IP アドレス。   |
| Switch Port    | 疑わしい IP フォンが使用するスイッチポート。  |
| Indication     | Cisco CallManager での IP フォンの登録ステータスを示します。   |

IP フォンの中には、実際にそうではない場合に [Suspect] とマークされるものがあります。これを修正するには、Cisco Unified Communications Manager が Prime UOM によって管理されていることを確認します。Cisco Unified Communications Manager のステータスは、Device Details レポートで確認できます。「デバイスの詳細の表示」(P.8-36) を参照してください。

- Cisco Unified Communications Manager が Prime UOM によって管理されていない場合は、Prime UOM に追加します。
- Cisco Unified Communications Manager が Prime UOM によって管理されていても到達不能である場合は、Prime UOM との接続が失われていることが原因である可能性があります。Prime UOM との接続を復元してください。



(注)

Suspect Phone レポートでは、Cisco Wireless IP Phone 7920 はサポートされません。

## Duplicate MAC/IP Address レポートの使用方法

Duplicate MAC/IP Address レポートには、ネットワーク内で次の状態にあるすべての IP フォンの属性が表示されます。

- 重複した MAC アドレスを持つ（他の電話と MAC アドレスが同じで、IP アドレスが異なる電話）。
- 重複した IP アドレスを持つ（他の電話と IP アドレスが同じで、MAC アドレスが異なる電話）。

Prime UOM は、マルチホーム ホストを重複した MAC アドレスを持つ電話として表示しません。

Duplicate MAC/IP Address レポートに正しい情報を表示するには、電話が接続されているスイッチが Prime UOM によって監視されている必要があります。スイッチが Prime UOM によって監視されていない場合は、レポートに情報が表示されません。

Duplicate MAC/IP Address レポートを使用するには、次の手順に従います。

**ステップ 1** [Reports] > [IP Phones] > [Activity] > [Duplicate MAC/IP] を選択します。

[IP Phone Status Reports] ページが表示されます。

**ステップ 2** リストから期間（24 時間～ 30 日間）を選択して [View] をクリックします。

Duplicate MAC/IP Address IP Phone レポートが表示されます。このレポートには、表 17-11 で説明されている情報が表示されます。

**表 17-11 Duplicate MAC/IP Address IP Phone レポート**

| カラム            | 説明   |
|----------------|--|
| Extension      | 重複のある IP フォンの内線番号。   |
| IP Address     | 次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 共通の MAC アドレスが問題である場合は、重複のある IP フォンの IP アドレス。</li> <li>• 共通の IP アドレスが問題である場合は、その IP アドレス。</li> </ul>  |
| MAC Address    | 次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 共通の IP アドレスが問題である場合は、重複のある IP フォンの MAC アドレス。</li> <li>• 共通の MAC アドレスが問題である場合は、その MAC アドレス。</li> </ul> <p>すべての電話レポートで、ソフトフォン（IP Communicator、Personal Communicator など）には、MacAddress フィールドの下にデバイス名が表示されます。これは、ソフトフォンの追跡が MacAddress（変動する情報）ではなくデバイス名（一意の情報）によって行われるためです。</p> |
| Switch Address | 重複のある IP フォンが接続されているスイッチの IP アドレス。   |
| Switch Port    | 重複のある IP フォンが使用するスイッチポート。  |
| Indication     | Cisco Unified Communications Manager での IP フォンの登録ステータス、duplicate IP を示します。   |

## IP Phone Status レポートのエクスポート

Prime UOM で 24 時間に 1 回 IP Phone Activity レポートを生成し、Prime UOM システムにカンマ区切り形式 (CSV) および PDF 形式で保存するには、次の手順を実行します。レポート ファイルには、作成日付と時刻を使用して名前が付けられます。ファイル名の形式は、`typeofreport_date_time.filetype` です。



(注)

Prime UOM は、これらのレポート ファイルを自動的に消去しません。これらは手動で削除する必要があります。

IP Phones ステータス レポートをエクスポートするには、次の手順を実行します。

### ステップ 1

[Reports] > [Audio IP Phones] > [Activity] > [Export] を選択します。

[Automatically Export 24-Hour IP Phone Activity Reports] ページが表示されます。このページには、表 17-12 で説明されている情報が表示されます。

表 17-12 エクスポート アクティビティ

| GUI 要素         | 説明 / 処理   |
|----------------|---|
| [Reports] ペイン  | 毎晩生成および保存する IP Phone Status レポートごとに、次の 1 つ以上をオンにします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• CSV チェックボックス：レポートを CSV 形式で保存します。</li> <li>• PDF チェックボックス：レポートを PDF 形式で保存します。</li> </ul> |
| [Generate] ペイン | <ul style="list-style-type: none"> <li>• Save at : Prime UOM サーバ上のレポートのデフォルトの保存場所が表示されます。サーバ上の別の場所を入力することができます。</li> <li>• E-mail to : (任意) 完全な電子メールアドレスを入力します。</li> </ul>            |

### ステップ 2

[Apply] をクリックします。

## IP Phone Movement Tracking について

Prime UOM は、次のタイプの IP フォンの移動を確認するために、5 分ごとにスイッチと Cisco Unified Communications Manager から情報を収集します。

- **Intercluster** : 以前にある Cisco Unified Communications Manager クラスタに登録されていた電話が、現在は別のクラスタに登録されている。
- **Physical** : あるスイッチ ポートに物理的に接続されていた電話が、現在別のスイッチ ポートに物理的に接続されている。

Cisco Prime UOM では、Cisco Unified IP Phone など、Cisco Discovery Protocol (CDP) または Link Layer Discovery Protocol (LLDP) を実行する電話機だけのこの情報を収集します。



(注)

Prime UOM でスイッチがによって監視されていない場合、物理的な電話の移動は、電話機のポーリングによって追跡されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36) を参照してください。

サポートされるモデルについては、『*Supported and Interoperable Devices and Software Table for Cisco Unified Prime UOM*』を参照してください。Prime UOMでは、この情報がデータベースに 30 日間保持され、その後消去されます。(日次ポーリング スケジュールについては、「[\[System Preferences\] を使用したシステム全体のパラメータの設定](#)」(P.20-18)を参照してください)。

IP Phone Movement Tracking が実行されるたびに、次のレポートで新しい情報の入手が可能になります。

- IP Phone Audit
- IP Phone Move
- Removed IP Phones
- Video Phone Audit
- Video Phone Move
- Removed Video Phones

## 電話のポーリングについて

Prime UOM は、次の電話レポート情報を IP フォンから直接収集します。

- シリアル番号、アプリケーション ID、およびロード ID
- スイッチの IP アドレス、スイッチ名、スイッチ ポート、および VLAN ID



(注) IP フォンのポーリングは、次のような場合には機能しません。

- IP フォンが NAT 環境の背後にある。
- IP フォンがセキュア HTTP (HTTPS) 接続しかサポートしていない (Cisco 7936 モデルなど)。
- IP フォンが HTTP/XML インターフェイスをサポートしていない (サードパーティ製の電話など)。

上記のいずれかの状況に該当する場合、上に挙げたパラメータは IP フォンから収集されません。

Prime UOM は、直接の IP フォンポーリングを毎日午後 3 時に開始します。別のポーリング時間をスケジューリングすることも可能です。特に、Energywise Power Saver Plus Mode が同じデフォルトポーリング時間 (たとえば、午後 3 時) に実行されるように設定されている場合、これを検討してください。ポーリングのスケジューリング時間を変更するには、「[電話 XML 検出ステータスの確認とスケジューリング](#)」(P.8-67)を参照してください。

2 回の電話ポーリング サイクルの間で電話のスイッチ ポートまたは IP アドレスに変更があった場合、それは電話の移動として追跡されます。電話の移動の詳細については、「[IP Phone Movement Tracking について](#)」(P.17-35)を参照してください。

マルチ エンドカスタマー バージョン導入では、Load ID 情報は Cisco Unified CM から取得され、選択モデルについてしか取得できません。

# Video IP Phones レポートの使用



(注)

必要なソフトウェア ライセンスがない場合は、Video Phones レポートを使用できません。

Video Phones レポートは、インベントリとアクティビティの 2 種類のレポートを提供します。

## Video Inventory レポート

ネットワーク内のビデオ電話の現在のステータスを反映した詳細なビデオ電話データが示されます。これらのレポートで、次のことが行えます。

- **Search** : 少数のビデオ電話または 1 つのビデオ電話の情報を表示する場合は、**Search** を使用します。**Search** では、内線番号の全体または一部、IP アドレス、MAC アドレス、またはカスタマー名を使用して電話を検索することができます。「[ビデオ IP フォンの検索](#)」(P.17-38) を参照してください。
- **Inventory Analysis** : Inventory Analysis レポートでは、指定した条件を満たすビデオ電話を表示できます。

たとえば、特定の Cisco Unified Communications Manager に登録されているビデオ電話や、特定のスイッチに接続されていないビデオ電話などを表示できます。「[Video IP Phone Inventory Analysis レポートの生成](#)」(P.17-40) および 3 を参照してください。

- **Video Phones/Lines** : Prime UOM で監視しているすべてのビデオ電話のデータを表示する場合は、Video Phones/Lines レポートを使用します。「[Video Phones/Lines レポートについて](#)」(P.17-47) および「[Video IP Phone レポートについて](#)」(P.17-51) を参照してください。
- **TelePresence Phones** : TelePresence レポートを使用すると、すべての TelePresence ビデオ電話デバイスおよび対応する TelePresence に関連付けられた Cisco Unified IP Phone 7970 のデータを表示できます。「[TelePresence レポートの生成](#)」(P.17-50) を参照してください。
- **SRST Video Phones** : Survivable Remote Site Telephony (SRST) 専用を設定されたビデオ電話のデータを表示する場合は、SRST Video Phones レポートを使用します。「[SRST Video Phones レポートの生成](#)」(P.17-51) を参照してください。
- SRST 用に設定された IP フォンは、All Video Phones/Lines レポートにも含まれ、Inventory Analysis レポートに含まれる場合もあります。
- **SIP Video Phones** : Prime UOM で監視しているすべての SIP ビデオ電話のデータを表示する場合は、SIP Video Phones レポートを使用します。「[SRST Video Phones レポートの生成](#)」(P.17-51) を参照してください。

ビデオ電話の Web インターフェイスがアクセス可能になっている場合は、次のいずれかのハイパーリンクをクリックすることにより、ほとんどのビデオ電話レポートから Web インターフェイスを開くことができます。

- Extension number
- MAC address
- Video phone IP address

詳細については、「[IP フォンの Web インターフェイスの表示](#)」(P.17-24) を参照してください。

## Video Activity レポート

過去 1 ~ 30 日間にステータス変更のあったビデオ電話のデータが示されます。

- **Video Phone Move** : Video Phone Move レポートを使用して、別のスイッチまたはスイッチポートあるいは別の Cisco Unified Communications Manager に登録されたスイッチに接続された電話機のデータを表示します。「[Video Phone Move レポートの使用方法](#)」(P.17-58) を参照してください。
- **Video Phone Audit** : Video Phone Audit レポートを使用して、変更の要約を取得します。変更には、移動、削除、内線番号の変更、重複した MAC または IP アドレスでインベントリに表示された、または疑わしくなった電話機のデータが含まれます。「[Audio IP Phone Audit レポートの使用方法](#)」(P.17-29) を参照してください。
- **Removed Video Phones** : Removed Video Phones レポートでは、削除されたビデオ電話の要約を取得できます。「[Removed Video Phones レポートの使用方法](#)」(P.17-61) を参照してください。
- **Extension Number Change** : 「[Video Phone Extension Number Changes レポートの使用方法](#)」(P.17-62) を参照してください。

詳細については、以下を参照してください。

- 「[Video IP Phone Activity レポートの使用方法](#)」(P.17-57)
- 「[Audio IP Phone Activity レポートの対象期間](#)」(P.17-27)
- 「[Cisco Unified Communications Manager がダウンしている場合の電話ステータスの追跡](#)」(P.17-27)

## Video IP Phone Inventory レポートの生成

次の事項について説明します。

- 「[ビデオ IP フォンの検索](#)」(P.17-38)
- 「[Video IP Phone Inventory Analysis レポートの生成](#)」(P.17-40)
- 「[Video Phones/Lines レポートについて](#)」(P.17-47)
- 「[Video Phones/Lines レポートの生成](#)」(P.17-46)
- 「[TelePresence レポートの生成](#)」(P.17-50)
- 「[SRST Video Phones レポートの生成](#)」(P.17-51)
- 「[SIP Video Phones レポートの生成](#)」(P.17-51)

### ビデオ IP フォンの検索

ネットワーク内の 1 つまたはごく少数のビデオ IP フォンを検索するには、Search を使用します。Search では、一度に 1 つの電話の情報が表示されます。複数の電話が検索された場合は、前後に移動して各電話の情報を表示することができます。内線番号の全部または一部、IP アドレス、MAC アドレス、またはカスタマー名を使用して電話を検索できます。

Cisco Unified Communications Manager に登録されているすべてのビデオ電話やスイッチに接続されているすべての電話などのように、多数のビデオ電話を検索する場合は、Inventory Analysis レポートを使用します。「[Inventory Analysis レポートの生成](#)」(P.17-6) を参照してください。Inventory Analysis レポートは、特定のデバイス プールに属する電話の検索も行います。

複数の電話を検索するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** [Reports] > [Video IP Phones] > [Inventory] > [Search] を選択します。  
[Find Video Phones Where] ペインが表示されます。

**ステップ 2** 次のいずれかを選択します。

- Extension number
- IP address
- MAC address

**ステップ 3** 次のいずれかを選択します。

- is exactly
- begins with
- contains
- ends with

**ステップ 4** 値を入力します。

**ステップ 5** [View] をクリックします。

[Video Phone Details] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスには、表 17-13 で説明されている情報が表示されます。

表 17-13 Video Phone Details

| 列                  | 説明   |
|--------------------|--|
| Extension          | ビデオ電話の内線番号。たとえば 4000 と入力します。ハイパーリンクをクリックすると、ビデオ電話の Web インターフェイスが開きます（「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照）。  |
| IP Address         | 発信元のビデオ電話の IP アドレス。たとえば、10.76.38.65 と指定します。ハイパーリンクをクリックすると、ビデオ電話の詳細情報が表示されます（「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照）。  |
| MAC Address        | 発信元のビデオ電話の MAC アドレス。たとえば、003094c40454 や 00-30-94-c4-04-54。ハイパーリンクをクリックすると、ビデオ電話の Web インターフェイスが開きます（「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照）。<br><br>すべての電話レポートで、ソフトフォン（IP Communicator、Personal Communicator など）には、MacAddress フィールドの下にデバイス名が表示されます。これは、ソフトフォンの追跡が MacAddress（変動する情報）ではなくデバイス名（一意の情報）によって行われるためです。 |
| CCM Address        | ビデオ電話が登録されている Cisco Unified Communications Manager (CCM) のアドレス。たとえば 10.76.38.70。   |
| Switch Address     | ビデオ電話が接続されているスイッチの IP アドレス。たとえば 10.76.29.162。  |
| Switch Name        | ビデオ電話が接続されているスイッチ。   |
| Switch Port        | ビデオ電話が接続されているスイッチポート。たとえば Fa0/12。  |
| Port Status        | ビデオ電話が接続されているスイッチポートのステータス。up または down。  |
| Video Phone Status | Cisco Unified Communications Manager でのビデオ電話の登録ステータス： <ul style="list-style-type: none"> <li>• Yes：ビデオ電話は Cisco Unified Communications Manager に登録済みです。</li> <li>• No：ビデオ電話は Cisco Unified Communications Manager に登録されていません。</li> </ul>   |
| Video Phone Model  | Cisco ビデオ電話のモデル番号。   |

表 17-13 Video Phone Details (続き)

| 列                  | 説明   |
|--------------------|--|
| Protocol           | 電話が Cisco Unified Communications Manager との通信に使用するプロトコル。<br>検出されるのは、SCCP 電話と SIP 電話だけです。H.323 および MGCP プロトコルは現在サポートされていません。  |
| VLAN Name          | スイッチ内の VLAN の名前 (ユーザ定義名)。たとえば voice。   |
| VLAN ID            | ビデオ電話が接続されているスイッチ内の VLAN の ID。たとえば 100。  |
| SRST Router        | SRST 用に電話で使用しているルータの IP アドレス。  |
| SRST Mode          | 次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Yes : 電話は SRST モードです。</li> <li>• No : 電話は SRST モードではありません。</li> <li>• ? : 電話は SRST モードであると思われます。</li> <li>• — (ダッシュ) : 電話は SRST 電話ではありません。</li> </ul> |
| Device Pool Name   | IP フォンが属しているデバイス プール。  |
| Partition Name     | IP フォンに関連付けられているパーティションの名前。  |
| Status Reason Code | IP フォンの登録ステータスの理由コード。各ステータスの理由コードの詳細については、Cisco Unified CM のマニュアルを参照してください。Energywise の Power Save Plus モードになっている電話は、電話の登録ステータス変更の理由コードに基づいて識別されます。  |
| Customer Name      | 管理されているサービス プロバイダー カスタマーの場合は、カスタマー グループ名。このデータは、デバイスがデータベースに追加されるときに入力され、デバイス データを編集することによっても追加できます。   |

- 新しいブラウザ ウィンドウに印刷に適した形式で情報を表示するには、[Print] をクリックします。情報の印刷には、ブラウザの印刷機能を使用します。
- 検索結果に複数の電話が含まれる場合は、[Next] または [Prev] をクリックしてそれぞれを表示します。

詳細については、次のトピックを参照してください。

- [「Audio IP Phones レポートおよび Video IP Phones レポートのトラブルシューティングのヒント」\(P.17-25\)](#)

## Video IP Phone Inventory Analysis レポートの生成

Inventory Analysis では、ネットワーク内のビデオ IP フォンを検索してレポートに表示できます。

### はじめる前に

Inventory Analysis では、次のように電話が検索されます。

- 各フィールド内では暗黙的に「or」を使用 : 1 つのフィールドに複数の値を入力した場合は、入力したいずれかの値に一致する電話が検索されます。
- すべてのフィールド間で暗黙的な「and」を使用 : 複数のフィールドに値を入力した場合は、各フィールドで少なくとも 1 つの値に一致する電話が検索されます。

たとえば、[Video Phone Model] フィールドに 2 つのビデオ電話モデルを入力した場合、結果の Inventory Analysis レポートにはこれらのモデルのすべての電話が含まれます。

これに加えて 1 つの VLAN ID と 1 つのスイッチを入力すると、これらすべての基準を満たす電話が検索されます。結果のレポートには、該当のスイッチに接続され、選択した VLAN 内に存在する、指定されたモデルの電話だけが含まれます。

Video IP Phone Inventory Analysis レポートを生成するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** [Reports] > [Video IP Phones] > [Inventory] > [Inventory Analysis] を選択します。

[Find Video Phones] ページが表示されます。

**ステップ 2** 表 17-14 での説明に従って、1 つ以上のフィールドに値を入力します。

表 17-14 Video IP Phone Inventory Analysis レポート

| GUI 要素                              | 説明 / 処理  |
|-------------------------------------|--|
| [Video Phones Where] のリストボックスとフィールド | 左から右の順に次の作業を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Extension number</li> <li>IP Address</li> <li>MAC Address</li> </ul> </li> <li>次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>is exactly</li> <li>begins with</li> <li>contains</li> <li>ends with</li> </ul> </li> <li>値を入力します。</li> </ul> |
| [VLAN Name] フィールド                   | VLAN の名前を入力します。  |
| [VLAN ID] フィールド                     | VLAN ID を入力します。  |
| [Video Phone Status] のオプション ボタン     | 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Registered</li> <li>Unregistered</li> <li>All : 登録された電話と登録解除された電話</li> </ul>  |
| [SRST] のオプション ボタン                   | 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>SRST : WAN リンク障害時に SRST ルータへフェールオーバーするように設定されている。</li> <li>Non-SRST : SRST 向けに設定されていない。</li> <li>All : SRST および非 SRST。</li> </ul>   |

表 17-14 Video IP Phone Inventory Analysis レポート (続き)

| GUI 要素                    | 説明/処理   |
|---------------------------|---|
| [Protocol] のオプション ボタン     | <p>次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SCCP : Skinny Client Control Protocol を使用する電話機。</li> <li>• SIP : Session Initiation Protocol を使用する電話機。</li> <li>• All : SCCP および SIP。</li> </ul>  |
| [Video Phone Type] フィールド  | <p>複数の電話モデルをカンマで区切って入力します。デフォルトで、このフィールドには、サポートされるすべての電話モデルが含まれます。フィールドのエントリを直接編集するか、次のように電話モデルのリストから選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.  をクリックします。<br/>[Select Video Phone Models] リストが表示されます。</li> <li>2. 必要なビデオ電話モデルをリストから選択します。<br/>リストから複数のビデオ電話モデルを選択するには Ctrl キーまたは Shift キーを使用します。</li> <li>3. [OK] をクリックします。</li> </ol>  |
| [CCM/CCM Cluster/CME] ペイン | <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Exclude] チェックボックス : デフォルトでオフになります。オンにすると、リストボックスの Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager クラスタ、および Cisco Unified Communications Manager Express に属している電話が除外されます。</li> <li>• リスト ボックス : 複数の Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager クラスタ、および Cisco Unified Communications Manager Express インスタンスをカンマで区切って入力するか、次のように選択します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1.  をクリックします。<br/>[Select CCM/CCM Cluster/CME] ダイアログボックスが表示されます。</li> <li>2. CCM/CCM Cluster/CME Selector で、グループを展開し、次のいずれかを 1 つ以上選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– Cisco Unified Communications Manager</li> <li>– Cisco Unified Communications Manager Cluster</li> <li>– Cisco Unified Communications Manager Express</li> </ul> </li> <li>3. [OK] をクリックします。<br/>ダイアログボックスが閉じ、[Find Video Phones] 画面に [CCM/CCM Cluster/CME] リスト ボックスで選択した項目が表示されます。</li> </ol> </li> </ul> |

表 17-14 Video IP Phone Inventory Analysis レポート (続き)

| GUI 要素             | 説明 / 処理   |
|--------------------|---|
| [Switch] ペイン       | <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Exclude] チェックボックス：デフォルトでオフになります。オンにすると、リストボックスのスイッチに接続されている電話が除外されます。</li> <li>• リストボックス：複数のスイッチをカンマで区切って入力するか、次のように選択します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1.  をクリックします。<br/>[Inventory Analysis Switch Selection] ダイアログボックスが表示されます。</li> <li>2. [Switch Selector] でグループを展開し、スイッチを選択します。</li> <li>3. [OK] をクリックします。<br/>ダイアログボックスが閉じ、[Find Video Phones] 画面に [Switch] リストボックスで選択した項目が表示されます。</li> </ol> </li> </ul> |
| [SRST Router] ペイン  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Exclude] チェックボックス：デフォルトでオフになります。オンにすると、リストボックスの SRST ルータを使用する電話が除外されます。</li> <li>• リストボックス：複数のルータをカンマで区切って入力するか、次のように選択します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1.  をクリックします。<br/>[Inventory Analysis Router Selection] ダイアログボックスが表示されます。</li> <li>2. [Router Selector] でグループを展開し、ルータを選択します。</li> <li>3. [OK] をクリックします。<br/>ダイアログボックスが閉じ、[Find Video Phones] 画面に [Router] リストボックスで選択した項目が表示されます。</li> </ol> </li> </ul> |
| Device Pool Name   | IP フォンに関連付けられているデバイス プールの名前。  |
| Partition Name     | IP フォンに関連付けられているパーティションの名前。   |
| Status Reason Code | <p>このフィールドに基づいて、電話の検索とフィルタリングを行えます。デフォルトでは、このフィールドは空白です。</p> <p>複数のステータス理由コードをカンマで区切って入力します。デフォルトでは、このフィールドには、サポートされるすべての理由コードが含まれています。フィールドのエントリを直接編集するか、次のようにステータス理由コードのリストから選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.  をクリックします。<br/>[Select Status Reason Codes] リストが表示されます。</li> <li>2. リストから、必要な理由コードを選択します。<br/>リストから複数の理由コードを選択するには Ctrl キーまたは Shift キーを使用します。</li> <li>3. [OK] をクリックします。</li> </ol>  |
| Customer Name      | 管理されているサービス プロバイダー カスタマーの場合は、カスタマーグループ名。このデータは、デバイスがデータベースに追加されるときに入力され、デバイス データを編集することによっても追加できます。   |

1. 登録済み電話の数には、部分的に登録された電話も含まれています。

**ステップ 3** [View] をクリックします。

別のウィンドウに Inventory Analysis レポートが表示されます。「[Video IP Phone レポートについて \(P.17-51\)](#)」を参照してください。



をクリックしたときに表示されるポップアップ ウィンドウに、Cisco Unified Communications Manager やスイッチのリストが表示されない場合があります。このような状況は、PIFServer プロセスがダウンしている場合に発生します。次の操作を行います。

**ステップ 1** コマンドラインで **pdshow PIFServer** コマンドを使用して、PIFServer のステータスを確認します。

**ステップ 2** PIFServer が停止している場合、Common Services の起動機能を使用します。次の手順を実行します。

**a.** [Administration] > [Server Administration (Common Services)] > [Administration] > [Process Management] を選択します。

[Process Management] ページが表示され、表にプロセス名が示されます。

**b.** 表で PIFserver プロセスを特定し、そのチェックボックスをオンにして [Start] をクリックします。また、コマンドラインからコマンド **pdexec PIFServer** を使用して、PIFServer を起動することもできます。この方法は、Web サーバが停止している場合などに使用してください。

## Video IP Phone Inventory Analysis レポートについて

Inventory Analysis レポートには、入力した条件と一致するビデオ IP フォンのリストが表示されます。デフォルトでは、これらのレポートには、Extension、User、IP address、MAC address、Model、Regd、CCM、Switch address、および Port のカラムだけが表示されます。マルチ エンドカスタマーバージョン導入を実行している場合は、デバイスをデータベースに追加したときかまたはデータベース内のデバイスを編集したときにカスタマー名を入力していれば、Customer Name も表示されます。

これらのカラムは非表示にできます。また、他のカラムを表示されるように選択することもできます。「[Phone Inventory レポートに表示するカラムと表示しないカラムの選択 \(P.17-23\)](#)」を参照してください。

表 17-15 では、このレポートに表示されるすべてのデータ カラムについて説明します。

**表 17-15 Video IP Phone Inventory Analysis レポートの内容**

| カラムとボタン  | 説明 / 処理   |
|----------|---|
| 番号       | 行番号。1 から始まります。  |
| チェックボックス | 次の操作の対象となる電話を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Print : 選択した電話を新しいウィンドウの印刷に適した形式での表示に含めます (「<a href="#">電話レポートのツール ボタン (P.17-19)</a>」を参照)。</li> <li>Export to a file : 選択した電話を PDF ファイルまたは CSV ファイルに含めます (「<a href="#">電話レポートのツール ボタン (P.17-19)</a>」を参照)。</li> <li>Launch a test on : レポートの一番下に [Launch] ボタンが表示されている場合に、選択した電話をこのボタンから作成したテストに含めます (「<a href="#">選択した IP フォンへのテスト実施 (P.17-25)</a>」を参照)。</li> </ul> |

表 17-15 Video IP Phone Inventory Analysis レポートの内容 (続き)

| カラムとボタン            | 説明/処理  |
|--------------------|--|
| Extn.              | ビデオ電話の内線番号。たとえば 4000 と入力します。ハイパーリンクをクリックすると、ビデオ電話の詳細情報が表示されます (「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照)。  |
| User               | Prime UOM に LDAP サーバが設定されている場合に LDAP を使用して取得されたユーザ名。「LDAP の設定」(P.8-68) および「IP Phone レポート用の LDAP のユーザ名の取得」(P.17-24) を参照してください。  |
| IP Address         | 発信元のビデオ電話の IP アドレス。たとえば、10.76.38.65 と指定します。ハイパーリンクをクリックすると、ビデオ電話の詳細情報が表示されます (「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照)。   |
| MAC Address        | 発信元のビデオ電話の MAC アドレス。たとえば、003094c40454 や 00-30-94-c4-04-54。ハイパーリンクをクリックすると、ビデオ電話の詳細情報が表示されます (「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照)。<br><br>すべての電話レポートで、ソフトフォン (IP Communicator、Personal Communicator など) には、MacAddress フィールドの下にデバイス名が表示されます。これは、ソフトフォンの追跡が MacAddress (変動する情報) ではなくデバイス名 (一意の情報) によって行われるためです。 |
| Model              | ビデオ電話のモデル番号。   |
| Protocol           | 電話が Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express との通信に使用するプロトコル。<br><br>検出されるのは、SCCP 電話と SIP 電話だけです。H.323 および MGCP プロトコルは現在サポートされていません。   |
| Regd.              | Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express に対するビデオ電話の登録ステータス。ビデオ電話が登録されている場合は <b>Yes</b> と表示され、登録されていない場合は <b>No</b> と表示されます。   |
| CCM                | 次のいずれかです。<br><br><ul style="list-style-type: none"> <li>• CCM : Cisco Unified Communications Manager</li> <li>• CCE : Cisco Unified Communications Manager Express</li> </ul>  |
| CCM/CME Name       | ビデオ電話が登録されている Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express の DNS 名。   |
| CCM/CME Address    | ビデオ電話が登録されている Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express の IP アドレス。   |
| Switch Name        | ビデオ電話が接続されているスイッチの名前。  |
| Switch Address     | ビデオ電話が接続されているスイッチの IP アドレス。  |
| Port               | ビデオ電話が使用するスイッチポート。たとえば Fa0/12。   |
| Port Status        | ビデオ電話が使用するポートのステータス。up または down。   |
| Partition Name     | IP フォンが属するパーティション。   |
| Status Reason Code | IP フォンの登録ステータスの理由コード。各ステータスの理由コードの詳細については、Cisco Unified Communications Manager のマニュアルを参照してください。<br><br>Energywise の Power Save Plus モードになっている電話は、電話の登録ステータス変更の理由コードに基づいて識別されます。  |

表 17-15 Video IP Phone Inventory Analysis レポートの内容 (続き)

| コラムとボタン        | 説明/処理  |
|----------------|--|
| VLAN Name      | VLAN の名前 (ユーザ定義名)。たとえば voice。  |
| VLAN ID        | ビデオ電話の VLAN の ID。たとえば 100。   |
| SRST Mode      | 次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Yes : 電話は SRST モードです。</li> <li>• No : 電話は SRST モードではありません。</li> <li>• ? : 電話は SRST モードであると思われます。</li> <li>• — (ダッシュ) : 電話は SRST 電話ではありません。</li> </ul> |
| SRST Router    | 次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話が SRST 用に使用しているルータの IP アドレス。</li> <li>• — (ダッシュ)</li> </ul>   |
| Serial No.     | IP Phone のシリアル番号。<br>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36) を参照してください。  |
| Application ID | 電話機で実行しているファームウェアの識別番号。<br>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36) を参照してください。  |
| Load ID        | 電話機で実行しているプレインストールされたロードの識別番号。<br>マルチ エンドカスタマー バージョン導入では、この情報は Cisco Unified CM から取得され、選択モデルにしか取得できません。<br>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36) を参照してください。                                  |
| Customer Name  | 管理されているサービス プロバイダー カスタマーの場合は、カスタマー グループ名。このデータは、デバイスがデータベースに追加されるときに入力され、デバイス データを編集することによっても追加できます。   |
| [Launch] ボタン   | メニュー項目をクリックして選択し、このレポートで選択されたビデオ電話のテストを設定します。「選択した IP フォンへのテスト実施」(P.17-25) を参照   |

## Video Phones/Lines レポートの生成

Video Phone/Lines レポートを生成するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** [Reports] > [Video IP Phones] > [Inventory] > [Video Phones/Lines] を選択します。  
[Video Phones/Lines] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** リストから [Video Phones] を選択して、[View] をクリックします。

Video Phones/Lines レポートが表示されます。このレポートには、「[Video IP Phone レポートについて](#)」(P.17-51) で説明されている情報が表示されます。Unknown Phones Report へのリンクが、レポートのタイトルの横に表示されます。

## Video Phones/Lines レポートについて

Video Phones/Lines レポートには、入力した条件と一致するビデオ電話のリストが表示されます。デフォルトでは、これらのレポートには、Extension、User、IP Address、MAC Address、Model、Regd、CCM、Switch Address、Port、および Status Reason Code のカラムだけが表示されます。マルチエンドカスタマーバージョン導入を実行している場合は、デバイスをデータベースに追加したときかまたはデータベース内のデバイスを編集したときにカスタマー名を入力していれば、Customer Name も表示されます。

Unknown Phones Report へのリンクが、レポートのタイトルの横に表示されます。

「Phone Inventory レポートに表示するカラムと表示しないカラムの選択」(P.17-23) を参照してください。

表 17-16 では、このレポートに表示されるすべてのデータ カラムについて説明します。

表 17-16 Video Phones/Lines レポート

| カラムとボタン     | 説明 / 処理   |
|-------------|---|
| 番号          | 行番号。1 から始まります。  |
| チェックボックス    | 次の操作の対象となる電話を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Print : 選択した電話を新しいウィンドウの印刷に適した形式での表示に含めます (「電話レポートのツール ボタン」(P.17-19) を参照)。</li> <li>Export to a file : 選択した電話を PDF ファイルまたは CSV ファイルに含めます (「電話レポートのツール ボタン」(P.17-19) を参照)。</li> <li>Launch a test on : レポートの一番下に [Launch] ボタンが表示されている場合に、選択した電話をこのボタンから作成したテストに含めます (「選択した IP フォンへのテスト実施」(P.17-25) を参照)。</li> </ul> |
| Extn.       | ビデオ電話の内線番号。たとえば 4000 と入力します。ハイパーリンクをクリックすると、ビデオ電話の詳細情報が表示されます (「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照)。   |
| User        | Prime UOM に LDAP サーバが設定されている場合に LDAP を使用して取得されたユーザ名。「LDAP の設定」(P.8-68) および「IP Phone レポート用の LDAP のユーザ名の取得」(P.17-24) を参照してください。   |
| IP Address  | 発信元のビデオ電話の IP アドレス。たとえば、10.76.38.65 と指定します。ハイパーリンクをクリックすると、ビデオ電話の詳細情報が表示されます (「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照)。  |
| MAC Address | 発信元のビデオ電話の MAC アドレス。たとえば、003094c40454 や 00-30-94-c4-04-54。ハイパーリンクをクリックすると、ビデオ電話の詳細情報が表示されます (「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照)。<br><br>すべての電話レポートで、ソフト フォン (IP Communicator、Personal Communicator など) には、MacAddress フィールドの下にデバイス名が表示されます。これは、ソフト フォンの追跡が MacAddress (変動する情報) ではなくデバイス名 (一意の情報) によって行われるためです。  |
| Model       | ビデオ電話のモデル番号。たとえば、7902、7905、7910、7912、7920、7935、7940、7960、7970。  |

表 17-16 Video Phones/Lines レポート (続き)

|                 |  |
|-----------------|--|
| Protocol        | 電話が Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express との通信に使用するプロトコル。<br>検出されるのは、SCCP 電話と SIP 電話だけです。H.323 および MGCP プロトコルは現在サポートされていません。                             |
| Regd.           | Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express に対するビデオ電話の登録ステータス。ビデオ電話が登録されている場合は <b>Yes</b> と表示され、登録されていない場合は <b>No</b> と表示されます。                                 |
| CCM             | 次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• CCM : Cisco Unified Communications Manager</li> <li>• CCE : Cisco Unified Communications Manager Express</li> </ul>                                   |
| CCM/CME Name    | ビデオ電話が登録されている Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express の DNS 名。   |
| CCM/CME Address | ビデオ電話が登録されている Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express の IP アドレス。   |
| Switch Name     | ビデオ電話が接続されているスイッチの名前。  |
| Switch Address  | ビデオ電話が接続されているスイッチの IP アドレス。  |
| Port            | ビデオ電話が使用するスイッチ ポート。たとえば Fa0/12。  |
| Port Status     | ビデオ電話が使用するポートのステータス。up または down。   |
| VLAN Name       | VLAN の名前 (ユーザ定義名)。たとえば voice。  |
| VLAN ID         | ビデオ電話の VLAN の ID。たとえば 100。   |
| SRST Mode       | 次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Yes : 電話は SRST モードです。</li> <li>• No : 電話は SRST モードではありません。</li> <li>• ? : 電話は SRST モードであると思われます。</li> <li>• — (ダッシュ) : 電話は SRST 電話ではありません。</li> </ul> |
| SRST Router     | 次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話が SRST 用に使用しているルータの IP アドレス。</li> <li>• — (ダッシュ)</li> </ul>   |
| Serial No.      | IP Phone のシリアル番号。<br>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36) を参照してください。  |
| Application ID  | 電話機で実行しているファームウェアの識別番号。<br>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36) を参照してください。  |

表 17-16 Video Phones/Lines レポート (続き)

|                    |  |
|--------------------|--|
| Load ID            | <p>電話機で実行しているプレインストールされたロードの識別番号。</p> <p>マルチ エンドカスタマー バージョン導入では、この情報は Cisco Unified CM から取得され、選択モデルにしか取得できません。</p> <p>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36) を参照してください。</p> |
| [Launch] ボタン       | メニュー項目をクリックして選択し、このレポートで選択されたビデオ電話のテストを設定します。  |
| Device Pool Name   | IP フォンに関連付けられているデバイス プールの名前。   |
| Partition Name     | IP フォンが属するパーティション。   |
| Status Reason Code | <p>IP フォンの登録ステータスの理由コード。各ステータスの理由コードの詳細については、Cisco Unified Communications Manager のマニュアルを参照してください。</p> <p>Energywise の Power Save Plus モードになっている電話は、電話の登録ステータス変更の理由コードに基づいて識別されます。</p> |
| Customer Name      | 管理されているサービス プロバイダー カスタマーの場合は、カスタマー グループ名。このデータは、デバイスがデータベースに追加される時に入力され、デバイス データを編集することによっても追加できます。  |

## TelePresence レポートの生成

TelePresence レポートを使用すると、すべての TelePresence ビデオ電話デバイスおよび対応する TelePresence システムに関連付けられた Cisco Unified IP Phone 7970 のリストを表示できます。

TelePresence レポートを生成するには、[Reports] > [Video IP Phones] > [Inventory] > [TelePresence Phones] を選択します。

TelePresence レポートは新しいウィンドウで表示され、TelePresence ビデオ電話デバイスおよび関連付けられた Cisco Unified IP Phone 7970 の情報が表示されます。詳細については、「[Video IP Phone レポートについて](#)」(P.17-51) を参照してください。

表 17-17 TelePresence レポート

| カラムとボタン          | 説明/処理  |
|------------------|--|
| 番号               | 行番号。1 から始まります。   |
| チェックボックス         | 次の操作の対象となる電話を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Print</b> : 選択した電話を新しいウィンドウの印刷に適した形式での表示に含めます (「<a href="#">電話レポートのツール ボタン</a>」(P.17-19) を参照)。</li> <li>• <b>Export to a file</b> : 選択した電話を PDF ファイルまたは CSV ファイルに含めます (「<a href="#">電話レポートのツール ボタン</a>」(P.17-19) を参照)。</li> </ul>                                  |
| Extn.            | ビデオ電話の内線番号。たとえば 4000 と入力します。ハイパーリンクをクリックすると、ビデオ電話の詳細情報が表示されます (「 <a href="#">IP フォンの Web インターフェイスの表示</a> 」(P.17-24) を参照)。  |
| User             | Prime UOM に LDAP サーバが設定されている場合に LDAP を使用して取得されたユーザ名。「 <a href="#">LDAP の設定</a> 」(P.8-68) および「 <a href="#">IP Phone レポート用の LDAP のユーザ名の取得</a> 」(P.17-24) を参照してください。  |
| IP Address       | 発信元のビデオ電話の IP アドレス。たとえば、10.76.38.65 と指定します。ハイパーリンクをクリックすると、ビデオ電話の詳細情報が表示されます (「 <a href="#">IP フォンの Web インターフェイスの表示</a> 」(P.17-24) を参照)。   |
| MAC Address      | 発信元のビデオ電話の MAC アドレス。たとえば、003094c40454 や 00-30-94-c4-04-54。ハイパーリンクをクリックすると、ビデオ電話の詳細情報が表示されます (「 <a href="#">IP フォンの Web インターフェイスの表示</a> 」(P.17-24) を参照)。<br><br>すべての電話レポートで、ソフトフォン (IP Communicator、Personal Communicator など) には、MacAddress フィールドの下にデバイス名が表示されます。これは、ソフトフォンの追跡が MacAddress (変動する情報) ではなくデバイス名 (一意の情報) によって行われるためです。 |
| Model            | ビデオ電話のモデル番号。   |
| Regd.            | Unified CM または Unified CME に対するビデオ電話の登録ステータス。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Yes</b> : IP フォンが登録されている場合</li> <li>• <b>No</b> : IP フォンが登録されていない場合</li> <li>• <b>Partial</b> : 電話が部分的に登録されている場合</li> </ul>  |
| CCM/CME Address  | ビデオ電話が登録されている Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express の IP アドレス。   |
| Switch Address   | ビデオ電話が接続されているスイッチの IP アドレス。  |
| Port             | ビデオ電話が使用するスイッチ ポート。たとえば、Fa0/12。  |
| Device Pool Name | IP フォンに関連付けられているデバイス プールの名前。   |

表 17-17 TelePresence レポート (続き)

| カラムとボタン            | 説明/処理   |
|--------------------|---|
| Partition Name     | IP フォンが属するパーティション。  |
| Status Reason Code | IP フォンの登録ステータスの理由コード。各ステータスの理由コードの詳細については、Cisco Unified Communications Manager のマニュアルを参照してください。<br><br>Energywise の Power Save Plus モードになっている電話は、電話の登録ステータス変更の理由コードに基づいて識別されます。 |

## SRST Video Phones レポートの生成

SRST Video Phones レポートには、Survivable Remote Site Telephony (SRST) 用に設定された電話のリストが表示されます。

SRST Video Phones レポートを生成するには、[Reports] > [Video IP Phones] > [Inventory] > [SRST Phones] を選択します。新しいウィンドウに SRST Video Phones レポートが表示されます。レポートには、SRST 設定の情報だけが表示されます。詳細については、「[Video IP Phone レポートについて](#)」(P.17-51) を参照してください。

## SIP Video Phones レポートの生成

SIP Video Phones レポートには、SIP ビデオ電話のリストが表示されます。SIP Video Phones レポートを生成するには、[Reports] > [Video IP Phones] > [Inventory] > [SIP Phones] を選択します。

新しいウィンドウに SIP Phones レポートが表示されます。レポートには、SIP ビデオ電話の情報だけが表示されます。詳細については、「[Video IP Phone レポートについて](#)」(P.17-51) を参照してください。

## Video IP Phone レポートについて

表 17-18 に、次のレポートに表示されるデータを示します。

- Inventory Analysis : 指定した基準に一致する電話が含まれます。
- All Video Phones/Lines : SRST 用に設定されたビデオ電話など、すべてのビデオ電話が含まれます。  
All Video Phones/Lines レポートをフィルタリングして、表示したい電話だけをレポートに含めることができます。
- SRST Video Phones : SRST 用に設定された電話だけが含まれます。
- SIP Video Phones : SIP ビデオ電話だけが含まれます。

デフォルトでは、これらのレポートには、Extension、User、IP Address、MAC Address、Model、Regd、CCM、Switch Address、Port、および Status Reason Code のカラムだけが表示されます。マルチエンドカスタマーバージョン導入を実行している場合は、デバイスをデータベースに追加したときかまたはデータベース内のデバイスを編集したときにカスタマー名を入力していれば、Customer Name も表示されます。

これらのカラムは非表示にできます。また、他のカラムを表示されるように選択することもできます。

「Phone Inventory レポートに表示するカラムと表示しないカラムの選択」(P.17-23) を参照してください。

表 17-18 では、このレポートに表示できるすべてのデータ カラムについて説明します。

表 17-18 Video Phone レポート

| カラムとボタン     | 説明 / 処理  |
|-------------|--|
| 番号          | 行番号。1 から始まります。   |
| チェックボックス    | 次の操作の対象となる電話を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Print</b> : 選択した電話を新しいウィンドウの印刷に適した形式での表示に含めます (「電話レポートのツール ボタン」(P.17-19) を参照)。</li> <li>• <b>Export to a file</b> : 選択した電話を PDF ファイルまたは CSV ファイルに含めます (「電話レポートのツール ボタン」(P.17-19) を参照)。</li> <li>• <b>Launch a test on</b> : レポートの一番下に [Launch] ボタンが表示されている場合に、選択した電話をこのボタンから作成したテストに含めます (「選択した IP フォンへのテスト実施」(P.17-25) を参照)。</li> </ul> |
| Extn.       | ビデオ電話の内線番号。たとえば 4000 と入力します。ハイパーリンクをクリックすると、ビデオ電話の詳細情報が表示されます (「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照)。  |
| User        | Prime UOM に LDAP サーバが設定されている場合に LDAP を使用して取得されたユーザ名。「LDAP の設定」(P.8-68) および「IP Phone レポート用の LDAP のユーザ名の取得」(P.17-24) を参照してください。  |
| IP Address  | 発信元のビデオ電話の IP アドレス。たとえば、10.76.38.65 と指定します。ハイパーリンクをクリックすると、ビデオ電話の詳細情報が表示されます (「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照)。   |
| MAC Address | 発信元のビデオ電話の MAC アドレス。たとえば、003094c40454 や 00-30-94-c4-04-54。ハイパーリンクをクリックすると、ビデオ電話の詳細情報が表示されます (「IP フォンの Web インターフェイスの表示」(P.17-24) を参照)。<br><br>すべての電話レポートで、ソフト フォン (IP Communicator、Personal Communicator など) には、MacAddress フィールドの下にデバイス名が表示されます。これは、ソフト フォンの追跡が MacAddress (変動する情報) ではなくデバイス名 (一意の情報) によって行われるためです。   |
| Model       | ビデオ電話のモデル番号。   |
| Protocol    | 電話が Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express との通信に使用するプロトコル。<br><br>検出されるのは、SCCP 電話と SIP 電話だけです。H.323 および MGCP プロトコルは現在サポートされていません。   |
| Regd.       | Unified CM または Unified CME に対するビデオ電話の登録ステータス。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Yes</b> : IP フォンが登録されている場合</li> <li>• <b>No</b> : IP フォンが登録されていない場合</li> <li>• <b>Partial</b> : 電話が部分的に登録されている場合</li> </ul>  |

表 17-18 Video Phone レポート (続き)

| カラムとボタン          | 説明/処理  |
|------------------|--|
| CCM              | 次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• CCM : Cisco Unified Communications Manager</li> <li>• CCE : Cisco Unified Communications Manager Express</li> </ul>                                   |
| CCM/CME Name     | ビデオ電話が登録されている Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express の DNS 名。   |
| CCM/CME Address  | ビデオ電話が登録されている Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express の IP アドレス。   |
| Switch Name      | ビデオ電話が接続されているスイッチの名前。  |
| Switch Address   | ビデオ電話が接続されているスイッチの IP アドレス。  |
| Port             | ビデオ電話が使用するスイッチ ポート。たとえば Fa0/12。  |
| Port Status      | ビデオ電話が使用するポートのステータス。up または down。   |
| VLAN Name        | VLAN の名前 (ユーザ定義名)。たとえば voice。  |
| VLAN ID          | ビデオ電話の VLAN の ID。たとえば 100。   |
| SRST Mode        | 次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Yes : 電話は SRST モードです。</li> <li>• No : 電話は SRST モードではありません。</li> <li>• ? : 電話は SRST モードであると思われます。</li> <li>• — (ダッシュ) : 電話は SRST 電話ではありません。</li> </ul> |
| SRST Router      | 次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• SRST 用に電話で使用しているルータの IP アドレス。</li> <li>• — (ダッシュ)</li> </ul>  |
| Serial No.       | IP Phone のシリアル番号。<br>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36) を参照してください。  |
| Application ID   | 電話機で実行しているファームウェアの識別番号。<br>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36) を参照してください。  |
| Load ID          | 電話機で実行しているプレインストールされたロードの識別番号。<br>マルチ エンドカスタマー バージョン導入では、この情報は Cisco Unified CM から取得され、選択モデルにしか取得できません。<br>この情報は、電話機のポーリングによって取得されます。「電話のポーリングについて」(P.17-36) を参照してください。                                  |
| [Launch] ボタン     | メニュー項目をクリックして選択し、このレポートで選択されたビデオ電話のテストを設定します。  |
| Device Pool Name | IP フォンに関連付けられているデバイス プールの名前。   |
| Partition Name   | IP フォンが属するパーティション。   |

表 17-18 Video Phone レポート (続き)

| カラムとボタン            | 説明 / 処理   |
|--------------------|---|
| Status Reason Code | IP フォンの登録ステータスの理由コード。各ステータスの理由コードの詳細については、Cisco Unified Communications Manager のマニュアルを参照してください。<br>Energywise の Power Save Plus モードになっている電話は、電話の登録ステータス変更の理由コードに基づいて識別されます。 |
| Customer Name      | 管理されているサービス プロバイダー カスタマーの場合は、カスタマーグループ名。このデータは、デバイスがデータベースに追加される時に入力され、デバイス データを編集することによっても追加できます。  |

## Video Phones レポートのフィルタリング

Video Phones レポートに [Filter] ボタンが表示されているときに、このボタンをクリックします。フィルタ ダイアログボックスが表示されます。

フィルタリングは次のように実行されます。

- 各フィールド内では暗黙的に「or」を使用：1 つのフィールドに複数の値を入力した場合、レポートには、入力したいずれかの値に一致する電話が含まれます。
- すべてのフィールド間で暗黙的な「and」を使用：複数のフィールドに値を入力した場合、フィルタリングの後のレポートには、各フィールドで少なくとも 1 つの値に一致する電話が含まれます。

たとえば、[Video Phone Model] フィールドに 2 つの電話モデル (7910 と 7935 など) を入力した場合、結果のレポートにはこれらのモデルのすべての電話が含まれます。

これに加えて 1 つの VLAN ID と 1 つのスイッチを入力すると、フィルタリングにより、該当のスイッチに接続され、選択した VLAN 内に存在する、指定されたモデルの電話だけがレポートに含まれます。

Video Phone レポートをフィルタリングするには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** 表 17-19 での説明に従って、1 つ以上のフィールドに値を入力します。

表 17-19 Video Phones レポートのフィルタリング

| GUI 要素                              | 説明 / 処理   |
|-------------------------------------|---|
| [Video Phones Where] のリストボックスとフィールド | <p>左から右の順に次の作業を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– Extension number</li> <li>– IP Address</li> <li>– MAC Address</li> </ul> </li> <li>• 次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– is exactly</li> <li>– begins with</li> <li>– contains</li> <li>– ends with</li> </ul> </li> <li>• 値を入力します。</li> </ul> |
| [VLAN Name] フィールド                   | VLAN の名前を入力します。   |
| [VLAN ID] フィールド                     | VLAN ID を入力します。   |
| [Video Phone Status] のオプション ボタン     | <p>次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Registered</li> <li>• Unregistered</li> <li>• All : 登録された電話と登録解除された電話</li> </ul>  |
| [SRST] のオプション ボタン                   | <p>次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SRST : WAN リンク障害時に SRST ルータへフェールオーバーするように設定されている。</li> <li>• Non-SRST : SRST 向けに設定されていない。</li> <li>• All : SRST および非 SRST。</li> </ul>   |
| [IP Phone Types] フィールド              | <p>複数の電話タイプをカンマで区切って入力します。フィールドのエントリを直接編集するか、次のように電話モデルのリストから選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.  をクリックします。<br/>[Select IP Phone Types] リストが表示されます。</li> <li>2. 必要なビデオ電話タイプをリストから選択します。<br/>リストから複数のビデオ電話タイプを選択するには Ctrl キーまたは Shift キーを使用します。</li> <li>3. [OK] をクリックします。</li> </ol>    |

表 17-19 Video Phones レポートのフィルタリング (続き)

| GUI 要素            | 説明/処理   |
|-------------------|---|
| [CCM/CME] ペイン     | <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Exclude] チェックボックス：デフォルトでオフになります。オンにすると、リストボックスの Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager クラスタ、および Cisco Unified Communications Manager Express に属している電話が除外されます。</li> <li>• リストボックス：複数の Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager クラスタ、および Cisco Unified Communications Manager Express インスタンスをカンマで区切って入力するか、次のように選択します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1.  をクリックします。<br/>[Select CCM/CCM Cluster/CME] ダイアログボックスが表示されます。</li> <li>2. CCM/CCM Cluster/CME Selector で、グループを展開し、次のいずれかを 1 つ以上のインスタンスを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– Cisco Unified Communications Manager</li> <li>– Cisco Unified Communications Manager Cluster</li> <li>– Cisco Unified Communications Manager Express</li> </ul> </li> <li>3. [OK] をクリックします。</li> </ol> </li> </ul> |
| [Switch] ペイン      | <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Exclude] チェックボックス：デフォルトでオフになります。オンにすると、リストボックスのスイッチに接続されている電話が除外されます。</li> <li>• リストボックス：複数のスイッチをカンマで区切って入力するか、次のように選択します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1.  をクリックします。<br/>[Inventory Analysis Switch Selection] ダイアログボックスが表示されます。</li> <li>2. [Switch Selector] でグループを展開し、スイッチを選択します。</li> <li>3. [OK] をクリックします。</li> </ol> </li> </ul>  |
| [SRST Router] ペイン | <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Exclude] チェックボックス：デフォルトでオフになります。オンにすると、リストボックスの SRST ルータを使用する電話が除外されます。</li> <li>• リストボックス：複数のスイッチをカンマで区切って入力するか、次のように選択します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1.  をクリックします。<br/>[Inventory Analysis Router Selection] ダイアログボックスが表示されます。</li> <li>2. [Router Selector] でグループを展開し、ルータを選択します。</li> <li>3. [OK] をクリックします。</li> </ol> </li> </ul>   |
| Device Pool Name  | IP フォンに関連付けられているデバイス プールの名前。  |
| Partition Name    | IP フォンに関連付けられているパーティションの名前。   |

表 17-19 Video Phones レポートのフィルタリング (続き)

| GUI 要素             | 説明 / 処理   |
|--------------------|---|
| Status Reason Code | <p>このフィールドに基づいて、電話の検索とフィルタリングを行えます。デフォルトでは、このフィールドは空白です。</p> <p>複数のステータス理由コードをカンマで区切って入力します。デフォルトでは、このフィールドには、サポートされるすべての理由コードが含まれています。フィールドのエントリを直接編集するか、次のようにステータス理由コードのリストから選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li> をクリックします。<br/>[Select Status Reason Codes] リストが表示されます。</li> <li>リストから、必要な理由コードを選択します。<br/>リストから複数の理由コードを選択するには Ctrl キーまたは Shift キーを使用します。</li> <li>[OK] をクリックします。</li> </ol> |
| Customer Name      | <p>管理されているサービス プロバイダー カスタマーの場合は、カスタマー グループ名。このデータは、デバイスがデータベースに追加される時に入力され、デバイス データを編集することによっても追加できます。</p>  |

1. 登録済み電話の数には、部分的に登録された電話も含まれています。

## ステップ 2 [OK] をクリックします。

フィルタ ダイアログボックスが閉じ、video phone レポートがリフレッシュされます。詳細については、「[Audio IP Phone Inventory レポートについて](#)」(P.17-15) を参照してください。



 をクリックしたときに表示されるポップアップ ウィンドウに、Cisco Unified Communications Manager やスイッチのリストが表示されない場合があります。このような状況は、PIFServer プロセスがダウンしている場合に発生します。次の操作を行います。

**ステップ 1** コマンドラインで **pdshow PIFServer** コマンドを使用して、PIFServer のステータスを確認します。

**ステップ 2** PIFServer が停止している場合、Common Services の起動機能を使用します。次の手順を実行します。

**a.** [Administration] > [Server Administration (Common Services)] > [Administration] > [Process Management] を選択します。

[Process Management] ページが表示され、表にプロセス名が示されます。

**b.** 表で PIFserver プロセスを特定し、そのチェックボックスをオンにして [Start] をクリックします。

また、コマンドラインからコマンド **pdexec PIFServer** を使用して、PIFServer を起動することもできます。この方法は、Web サーバが停止している場合などに使用してください。

## Video IP Phone Activity レポートの使用法

Video IP Phone Activity レポートでは、過去 1 ~ 30 日間にステータス変更のあった電話の情報が示されます。

Video IP Phone Audit レポートには、このような変更すべての要約が示されます（「[Video Phone Audit レポートの使用方法](#)」(P.17-60) を参照してください）。Additional Video Phone Activity レポートは、[表 17-20](#) に示すように、特定の変更タイプに焦点を絞っています。

表 17-20 Video IP Phone Activity レポート

| 電話のステータス変更                | レポートに表示される詳細情報  |
|---------------------------|---|
| 接続（異なるスイッチまたはスイッチポートへの接続） | <a href="#">「Video Phone Move レポートの使用方法</a> 」(P.17-58)                    |
| 内線番号の変更                   | <a href="#">「Video Phone Extension Number Changes レポートの使用法</a> 」(P.17-62) |
| 削除                        | <a href="#">「Removed Video Phones レポートの使用方法</a> 」(P.17-61)                |

## Video Phone Move レポートの使用法

Video Phone Move レポートには、移動されたビデオ電話が表示されます。また、レポートには移動の前後の詳細情報も含まれます。Video Phone Move レポートには、ビデオ電話の移動が発生した日時ではなく、移動が検出された日時が表示されます。

Video Phone Move レポートの情報は、Video Phone Movement Tracking により、5 分ごとに収集されます（「[IP Phone Movement Tracking について](#)」(P.17-35) を参照してください）。Video Phone Movement Tracking は、すべてのスイッチと Cisco Unified Communications Manager をチェックし、変更のリストを確認して、ビデオ電話の移動に関するデータを生成します。



(注)

Video Phone Move レポートの新しいデータは、およそ 5 分に 1 回取得されます。データをリフレッシュするには、レポートを閉じて再生成します。

Video Phone Move レポートを使用するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Reports] > [Video IP Phones] > [Activity] > [Video Phone Move] を選択します。  
[Video Phone Status Reports] ページが表示されます。
- ステップ 2** リストから期間（24 時間～ 30 日間）を選択して [View] をクリックします。  
Video Phone Move レポートが表示されます。このレポートには、[表 17-21](#) で説明されている情報が表示されます。

表 17-21 Video Phone Move レポート

| カラム                | 説明   |
|--------------------|--|
| Extension          | ビデオ電話の内線番号。Extension カラムには、Old と New の 2 つのサブカラムがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Old : 移動前のビデオ電話の内線番号。</li> <li>• New : 移動後のビデオ電話の内線番号。</li> </ul>                                    |
| IP Address         | 発信元のビデオ電話の IP アドレス。  |
| MAC Address        | 発信元のビデオ電話の MAC アドレス。   |
| CCM Address        | Cisco Unified Communications Manager のアドレス。CCM Address カラムには次の 2 つのサブカラムがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Old : 移動前のビデオ電話の CCM アドレス。</li> <li>• New : 移動後のビデオ電話の CCM アドレス。</li> </ul>  |
| Switch Address     | ビデオ電話が接続されているスイッチの IP アドレス。Switch Address カラムには次の 2 つのサブカラムがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Old : 移動前にビデオ電話で使用されていたスイッチ アドレス。</li> <li>• New : 移動後にビデオ電話で使用されているスイッチ アドレス。</li> </ul> |
| Switch Port        | ビデオ電話が使用するスイッチ ポート。Switch Port カラムには次の 2 つのサブカラムがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Old : 移動前にビデオ電話で使用されていたスイッチ ポート。</li> <li>• New : 移動後にビデオ電話で使用されているスイッチ ポート。</li> </ul>              |
| Time Stamp         | Prime UOM がビデオ電話の移動を検出した日付と時刻が反映されます。  |
| Device Pool Name   | IP フォンに関連付けられているデバイス プールの名前。   |
| Partition Name     | IP フォンが属するパーティション。   |
| Status Reason Code | IP フォンの登録ステータスの理由コード。各ステータスの理由コードの詳細については、Cisco Unified Communications Manager のマニュアルを参照してください。<br><br>Energywise の Power Save Plus モードになっている電話は、電話の登録ステータス変更の理由コードに基づいて識別されます。                      |
| Customer Name      | 管理されているサービス プロバイダー カスタマーの場合は、カスタマー グループ名。このデータは、デバイスがデータベースに追加されるときに入力され、デバイス データを編集することによっても追加できます。   |



## ヒント

移動され、Cisco Discovery Protocol (CDP) を実行していない電話は、レポートに表示されません。たとえば、30VIP と 12SP+ は CDP を実行しないため、これらの移動のエントリは表示されません。

## Video Phone Audit レポートの使用方法

Video Phone Audit レポートには、管理対象ビデオ電話ネットワークで発生した変更が表示されます。

たとえば、このレポートには、ネットワークで追加または削除されたビデオ電話や、ビデオ電話のステータス変更が表示されます。電話のステータス変更は、電話が Cisco Unified Communications Manager から登録解除された場合などに発生します。

過去 30 日以内の変更内容を表示できます。監査情報はデータベースに 30 日間保持され、その後消去されます。

Video Phone Audit レポートの情報は、IP Phone Movement Tracking によって収集されます（「[IP Phone Movement Tracking について](#)」(P.17-35) を参照してください）。IP Phone Movement Tracking は 5 分に 1 回実行されるため、Video Phone Audit Detail レポートを実行すると、およそ 5 分に 1 回新しいデータを取得することができます。この間隔をユーザが設定することはできません。

Video Phone Audit レポートを実行するには、次の手順を実行します。

---

**ステップ 1** [Reports] > [Video IP Phones] > [Activity] > [Video Phone Audit] を選択します。

[Video Phone Status Reports] ページが表示されます。

**ステップ 2** リストから期間（24 時間～ 30 日間）を選択して [View] をクリックします。

Video Phone Audit レポートが表示されます。このレポートには、表 17-22 で説明されている情報が表示されます。

表 17-22 Video IP Phone Audit レポート

| カラム               | 説明  |
|-------------------|---|
| Extension         | ビデオ電話の内線番号。   |
| IP Address        | 発信元のビデオ電話の IP アドレス。   |
| MAC Address       | 発信元のビデオ電話の MAC アドレス。  |
| CCM/CME Address   | Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express のアドレス。  |
| Switch Address    | ビデオ電話が接続されているスイッチの IP アドレス。   |
| Switch Port       | ビデオ電話が使用するスイッチ ポート。   |
| Time              | Cisco Unified Communications Manager での監査の日時。<br>Cisco Unified Communications Manager と Prime UOM システムの間に時間帯の差が存在していても、監査の日付と時刻は Cisco Unified Communications Manager から直接取得され、調整は行われません。   |
| Audit Type        | 次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Add : 電話のネットワークへの追加。</li> <li>• Remove : 電話のネットワークからの削除。</li> <li>• Unregistered : Cisco Unified Communications Manager からの登録解除。</li> <li>• Registered : Cisco Unified Communications Manager への登録。</li> </ul> |
| Audit Reason Code | IP フォンのステータス変更の理由コード。各ステータスの理由コードの詳細については、Cisco Unified Call Manager のマニュアルを参照してください。<br>Energywise の Power Save Plus モードによって引き起こされた電話のステータス変更は、IP Phone Audit レポートには含められません。   |
| Device Pool Name  | IP フォンに関連付けられているデバイス プールの名前。  |
| Partition Name    | IP フォンに関連付けられているパーティションの名前。   |
| Customer Name     | 管理されているサービス プロバイダー カスタマーの場合は、カスタマー グループ名。このデータは、デバイスがデータベースに追加されるときに入力され、デバイス データを編集することによっても追加できます。  |

## Removed Video Phones レポートの使用方法

Removed Video Phones レポートには、過去 1 ~ 30 日間に削除された電話が表示されます。Prime UOM は、このレポートで使用される情報を 5 分に 1 回収集します（「[IP Phone Movement Tracking について](#)」(P.17-35) を参照してください)。そのため、このレポートを 5 分に 1 回実行して新しいデータを入手できます。

Removed Video Phone レポートを使用するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** [Reports] > [Video IP Phones] > [Activity] > [Removed Video Phones] を選択します。  
[Video Phone Status Reports] ページが表示されます。
- ステップ 2** リストから期間 (24 時間 ~ 30 日間) を選択して [View] をクリックします。

新しいウィンドウに Removed Video Phones レポートが表示されます。このレポートには、表 17-23 で説明されている情報が表示されます。

**表 17-23 Removed Video Phones レポート**

| カラム             | 説明  |
|-----------------|---|
| Extension       | ビデオ電話の内線番号。   |
| IP Address      | 発信元のビデオ電話の IP アドレス。   |
| MAC Address     | 発信元のビデオ電話の MAC アドレス。  |
| CCM/CME Address | Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express のアドレス。  |
| Switch Address  | ビデオ電話が以前接続されていたスイッチの IP アドレス。   |
| Switch Port     | ビデオ電話が以前接続されていたスイッチ ポート。  |
| Time            | 電話が Cisco Unified Communications Manager から削除された日時。<br><br>Cisco Unified Communications Manager と Prime UOM システムの間に時間帯の差が存在していても、削除の日付と時刻は Cisco Unified Communications Manager から直接取得され、調整は行われません。 |
| Indication      | Cisco Unified Communications Manager でのビデオ電話の登録ステータス、removed を示します。   |

## Video Phone Extension Number Changes レポートの使用方法

Extension Number Changes レポートには、過去 1 ～ 30 日間に内線番号が変更された電話が表示されます。Prime UOM は、このレポートで使用される情報を 5 分に 1 回収集します（「[IP Phone Movement Tracking について](#)」(P.17-35) を参照してください)。そのため、このレポートを 5 分に 1 回実行して新しいデータを手に入れます。

Video Phone Extension Number Changes レポートを使用するには、次の手順を実行します。:

**ステップ 1** [Reports] > [Video IP Phones] > [Activity] > [Extension Changes] を選択します。

[Video Phone Status Reports] ページが表示されます。

**ステップ 2** リストから期間（24 時間～ 30 日間）を選択して [View] をクリックします。

新しいウィンドウに Extension Number Changes レポートが表示されます。このレポートには、表 17-24 で説明されている情報が表示されます。

表 17-24 Extension Number Changes レポート

| カラム              | 説明   |
|------------------|--|
| Extension        | ビデオ電話の内線番号。  |
| IP Address       | 発信元のビデオ電話の IP アドレス。  |
| MAC Address      | 発信元のビデオ電話の MAC アドレス。   |
| CCM Address      | Cisco Unified Communications Manager のアドレス。  |
| Switch Address   | ビデオ電話が以前接続されていたスイッチの IP アドレス。  |
| Switch Port      | ビデオ電話が以前接続されていたスイッチ ポート。   |
| Time             | Prime UOM が内線番号の変更を確認した日時。   |
| Device Pool Name | IP フォンに関連付けられているデバイス プールの名前。   |
| Partition Name   | IP フォンに関連付けられているパーティションの名前。  |
| Customer Name    | 管理されているサービス プロバイダー カスタマーの場合は、カスタマー グループ名。このデータは、デバイスがデータベースに追加されるときに入力され、デバイス データを編集することによっても追加できます。 |

## Video Phone Activity レポートのエクスポート

Prime UOM で 24 時間に 1 回 Video Phone Activity レポートを生成し、Prime UOM システムにカンマ区切り形式 (CSV) および PDF 形式で保存するには、次の手順を実行します。レポート ファイルには、作成日付と時刻を使用して名前が付けられます。ファイル名の形式は、`typeofreport_date_time.filetype` です。



(注)

Prime UOM は、これらのレポート ファイルを自動的に消去しません。これらは手動で削除する必要があります。

Video Phone Activity レポートをエクスポートするには、次の手順を実行します。

### ステップ 1

[Reports] > [Video Phones] > [Activity] > [Export] を選択します。

[Automatically Export 24-Hour Video Phone Status Reports] ページが表示されます。このページには、表 17-25 で説明されている情報が表示されます。

表 17-25 エクスポート アクティビティ

| GUI 要素         | 説明/処理  |
|----------------|--|
| [Reports] ペイン  | 毎晩生成および保存する Video Phone Activity レポートごとに、次の 1 つ以上をオンにします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• CSV チェックボックス：レポートを CSV 形式で保存します。</li> <li>• PDF チェックボックス：レポートを PDF 形式で保存します。</li> </ul> |
| [Generate] ペイン | <ul style="list-style-type: none"> <li>• Save at：Prime UOM サーバ上のレポートのデフォルトの保存場所が表示されます。サーバ上の別の場所を入力することができます。</li> <li>• E-mail to：(任意) 完全な電子メール アドレスを入力します。</li> </ul>                    |

**ステップ 2** [Apply] をクリックします。

## その他のレポートの表示

Service Level レポートまたは Unified CM Express View レポートを表示するには、モニタリング ダッシュボードからレポートにアクセスします。「[Service Level View について](#)」(P.5-1)、「[Service Level View からのデバイスとクラスタの表示](#)」(P.5-12)、または「[Cisco Prime Unified Operations Manager でのポータルの使用](#)」(P.3-1) を参照してください。